

令和6年度

**福島県の原子力災害による避難指示区域等の
住民意向調査 全体報告書**

令和7年3月

復 興 庁

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査主体	3
1-3 実施町	3
1-4 調査方法	3
1-5 調査対象	3
1-6 主な調査項目	3
1-7 調査実施状況	3
1-8 回答者の属性（年齢）	4
1-9 報告書の見方	5
II 調査結果の概要	7
2-1 帰還に関する世帯の意向	9
2-2 帰還を決めた理由についての世帯の意見	10
2-3 帰還を判断するために必要な条件についての世帯の意見	11
2-4 帰還しないと決めている理由についての世帯の意見	12
III 調査結果	13
3-1 現在の世帯の状況	14
3-1-1 現在の住まいの場所	14
3-1-2 現在の住居形態	16
3-1-3 現在の職業（就業形態）	18
3-1-4 現在の業種	20
3-1-5 世帯構成	22
3-1-6 世帯人数	24
3-1-7 震災発生当時の住まいの行政区	26
3-1-8 震災発生当時の住居形態	27
3-2 将来に関する世帯意向	28
3-2-1 帰還意向	28
3-2-2 帰還を決めた理由〔すでに帰還した世帯〕	40
3-2-3 今後の生活において必要な支援〔すでに帰還した世帯〕	41
3-2-4 帰還時期〔帰還したい世帯〕	42
3-2-5 帰還する場合の家族〔帰還したい世帯〕	43

3-2-6	帰還した場合に希望する住居形態〔帰還したい世帯〕	44
3-2-7	帰還した場合に今後の生活において必要な支援 〔帰還したい世帯〕	46
3-2-8	帰還を判断するために必要な条件 〔帰還の判断がつかない世帯〕	48
3-2-9	帰還しないと決めている理由〔帰還しない世帯〕	50
3-2-10	帰還しない場合に居住を希望する自治体〔帰還しない世帯〕	52
3-2-11	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態 〔帰還しない世帯〕	53
3-2-12	帰還しない場合に今後の生活において必要な支援 〔帰還しない世帯〕	54
3-2-13	町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還の判断がつかない世帯・帰還しない世帯〕	55

I 調査の概要

1-1 調査目的

福島県内の原子力災害による避難住民の早期帰還・定住に向けた環境整備等のための基礎情報収集を目的に住民意向調査を実施

1-2 調査主体

復興庁、福島県、各町

1-3 実施町

富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の4町

1-4 調査方法

郵送にて配布・回収（自記式）、及びWEB調査

1-5 調査対象

各世帯の代表者

1-6 主な調査項目

帰還に関する意向、帰還の判断に必要な条件など

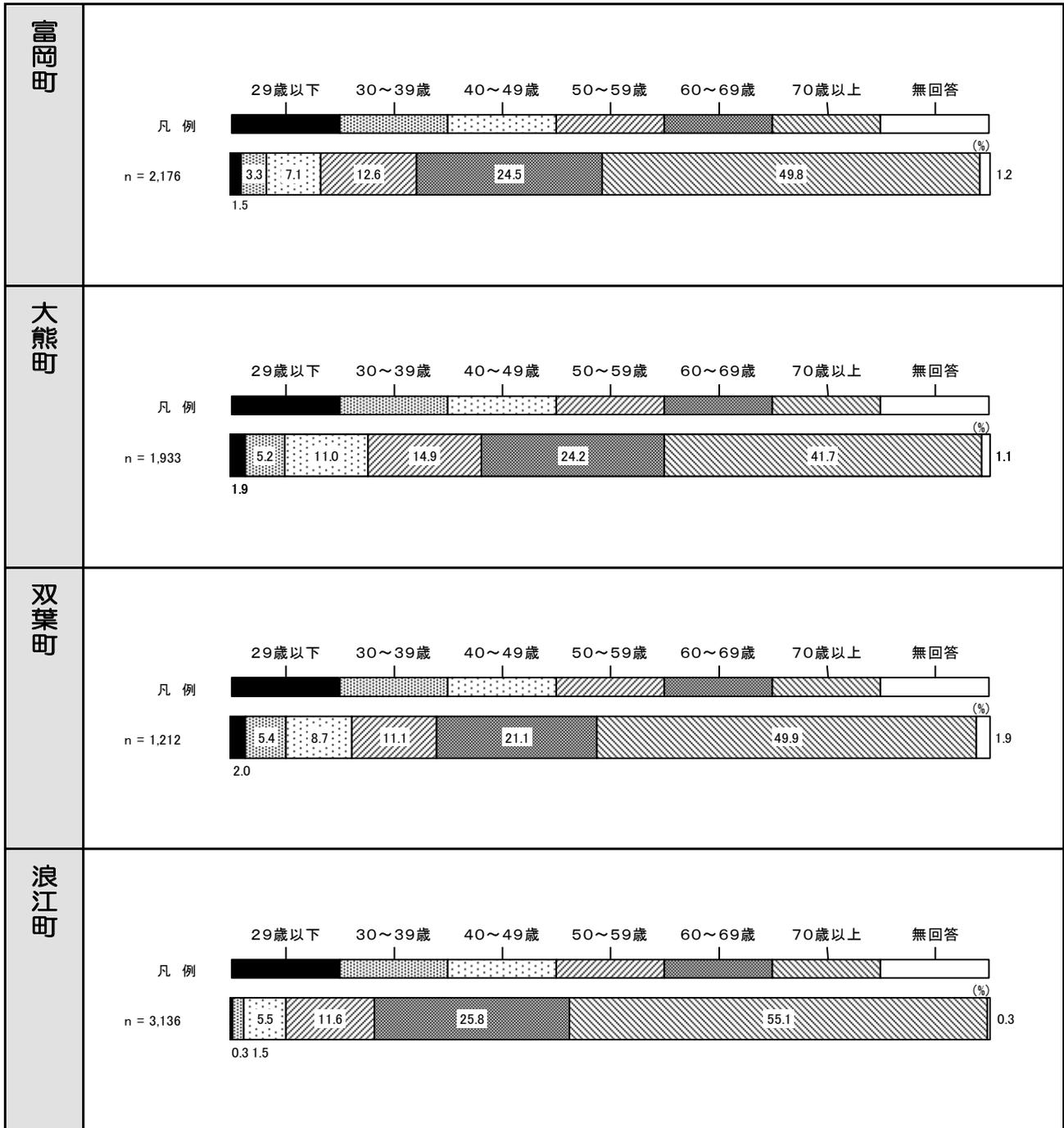
1-7 調査実施状況

調査対象となった各町の調査実施状況は以下のとおり。

	対象町	対象地域	記名・無記名	対象世帯数	回答世帯数	有効回収率	調査実施期間
1	富岡町	全域	無記名	5,829	2,176	37.3% (40.7%)	令和6年9月2日～9月23日
2	大熊町	全域	無記名	5,128	1,933	37.7% (39.1%)	令和6年9月30日～10月20日
3	双葉町	全域	記名	3,170	1,212	38.2% (38.3%)	令和6年10月28日～11月17日
4	浪江町	全域	記名	7,048	3,136	44.5% (39.7%)	令和6年11月5日～11月24日

※（ ）内は令和5年度

1-8 回答者の属性（年齢）



1-9 報告書の見方

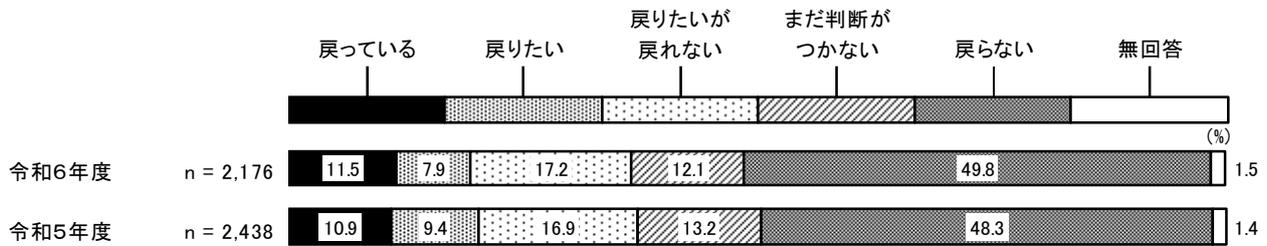
- 調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- 本報告書は、各町で実施した類似の設問毎に整理しているが、同一項目として整理している設問であっても、一部、設問内容や回答対象が異なっている場合がある。

II 調査結果の概要

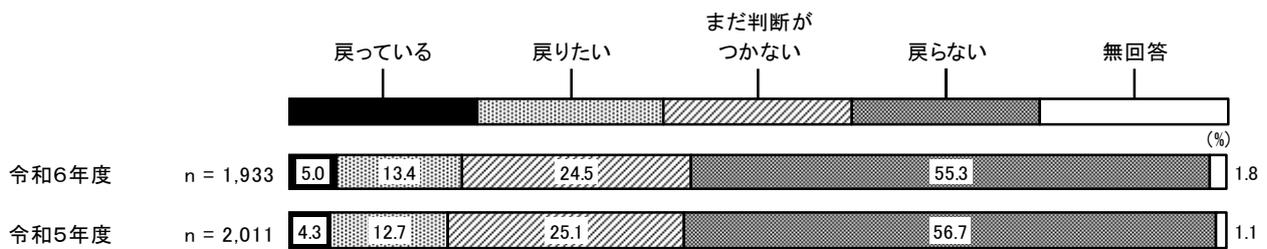
2-1 帰還に関する世帯の意向

○令和6年度の調査結果によると、各町において前年度から大きな変化はみられず、「まだ判断がつかない」と回答した世帯も引き続き一定程度の割合で存在している。

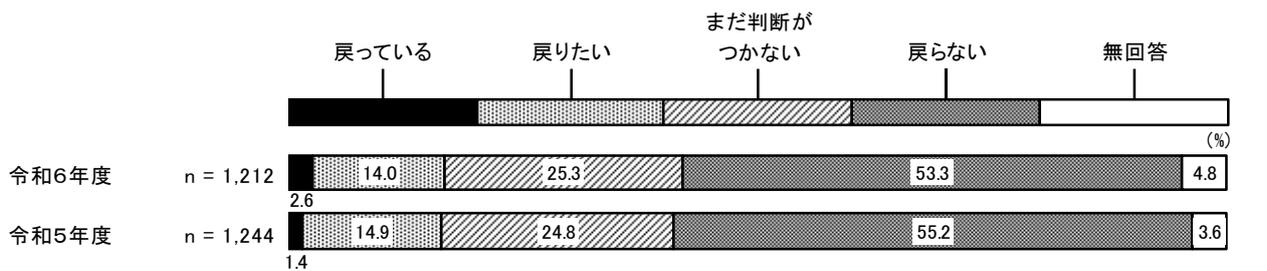
<富岡町>



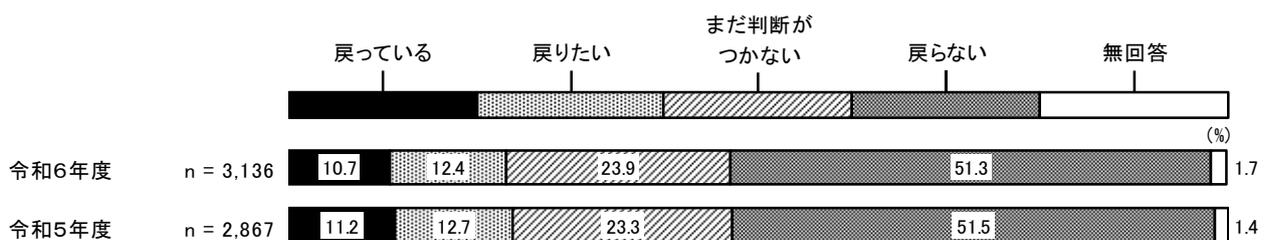
<大熊町>



<双葉町>



<浪江町>



2-2 帰還を決めた理由についての世帯の意見

○帰還意向において「戻っている」と回答した世帯が帰還を決めた理由として、「気持ちが安らぐこと」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和6年度 n=250	気持ちが安らぐこと 59.6%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 37.6%	放射線量が低減された こと 36.0%	役場機能が再開したこと 35.6%	医療機関が開院したこと 34.8%
大熊町 令和6年度 n=97	気持ちが安らぐこと 53.6%	役場機能が再開したこと 43.3%	自宅や公営住宅等が 整備されたこと 35.1%	放射線量が低減されたこと 32.0%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 32.0%
浪江町 令和6年度 n=334	浪江での生活は 気持ちが安らぐから 71.9%	放射線量が低減される など、不安が少しずつ 払拭されてきたから 23.7%	勤務先が近いから 19.8%	見守り隊のパトロール などにより安心して 生活できると判断したから 13.5%	医療機関(診療科)が 開業しているから 11.1%

■大熊町は、「放射線量が低減されたこと」「水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと」の2項目が同率であるが、表記上4～5位に分けて表示している

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=265	気持ちが安らぐこと 57.7%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 41.9%	医療機関が開院したこと 41.1%	放射線量が低減された こと 40.8%	役場機能が再開した こと 40.8%
大熊町 令和5年度 n=87	気持ちが安らぐこと 55.2%	役場機能が再開したこと 49.4%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 32.2%	自宅や公営住宅等が 整備されたこと 31.0%	放射線量が低減された こと 26.4%
浪江町 令和5年度 n=322	浪江での生活は気持ちが 安らぐから 69.9%	放射線量が低減される など、不安が少しずつ 払拭されてきたから 23.0%	勤務先が近いから 17.1%	友人・知人等が町内に 多く居住しているから 13.0%	見守り隊のパトロール などにより安心して 生活できると判断したから 10.2%

2-3 帰還を判断するために必要な条件についての世帯の意見

○帰還意向において「まだ判断がつかない」と回答した世帯が、帰還を判断するために必要な条件として、「医療機関の再開等」「商業施設の充実」「住民の帰還状況」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和6年度 n=263	医療機関(診療科)の拡充 57.8%	商業施設の充実 48.3%	介護・福祉施設の充実 38.4%	どの程度の住民が 戻るかの状況 30.0%	防犯・防火対策の強化 24.0%
大熊町 令和6年度 n=474	病院、道路、公共交通 などの社会基盤(インフラ) の復旧時期の目途 66.0%	小売店、飲食店等の 営業情報 39.0%	住宅確保への支援に 関する情報 38.4%	どの程度の住民が 戻るかの状況 32.9%	原子力発電所の安全性に 関する情報(事故収束や 廃炉の状況) 31.0%
双葉町 令和6年度 n=307	医療・介護福祉施設の 再開や新設 48.9%	商業施設の再開や新設 24.8%	住宅の再建に関する支援 21.8%	双葉町の今後の姿 16.9%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 13.0%

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=321	医療機関(診療科)の拡充 62.6%	商業施設の充実 52.3%	介護・福祉施設の充実 43.3%	どの程度の住民が 戻るかの状況 36.4%	防犯・防火対策の強化 24.3%
大熊町 令和5年度 n=505	病院、道路、公共交通 などの社会基盤(インフラ) の復旧時期の目途 69.1%	住宅確保への支援に 関する情報 43.8%	どの程度の住民が 戻るかの状況 40.6%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 30.7%	働く場の確保の目途 30.3%
双葉町 令和5年度 n=309	医療・介護福祉施設の 再開や新設 47.2%	商業施設の再開や新設 26.5%	住宅の再建に関する支援 19.4%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 17.8%	双葉町の今後の姿 16.5%

2-4 帰還しないと決めている理由についての世帯の意見

○帰還意向において「戻らない」と回答した世帯が、帰還しないと決めている理由として、「すでに生活基盤ができているから」「避難先の方が、生活利便性が高いから」「医療環境に不安があるから」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和6年度 n=1,084	すでに生活基盤が できているから 65.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 39.1%	医療環境に 不安があるから 29.8%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 23.2%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 21.2%
大熊町 令和6年度 n=1,069	すでに生活基盤が できているから 63.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.0%	医療環境に 不安があるから 32.7%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 26.8%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 20.3%
双葉町 令和6年度 n=646	避難先で自宅を購入または 建築し、将来も継続的に 居住する予定だから 52.0%	すでに自宅を解体して しまっているから 45.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 34.2%	医療環境に 不安があるから 33.7%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 21.1%
浪江町 令和6年度 n=1,609	すでに生活基盤が できているから 56.5%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 50.8%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 43.7%	医療環境に不安が あるから 40.8%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 25.4%

< (参考) 前回調査結果 >

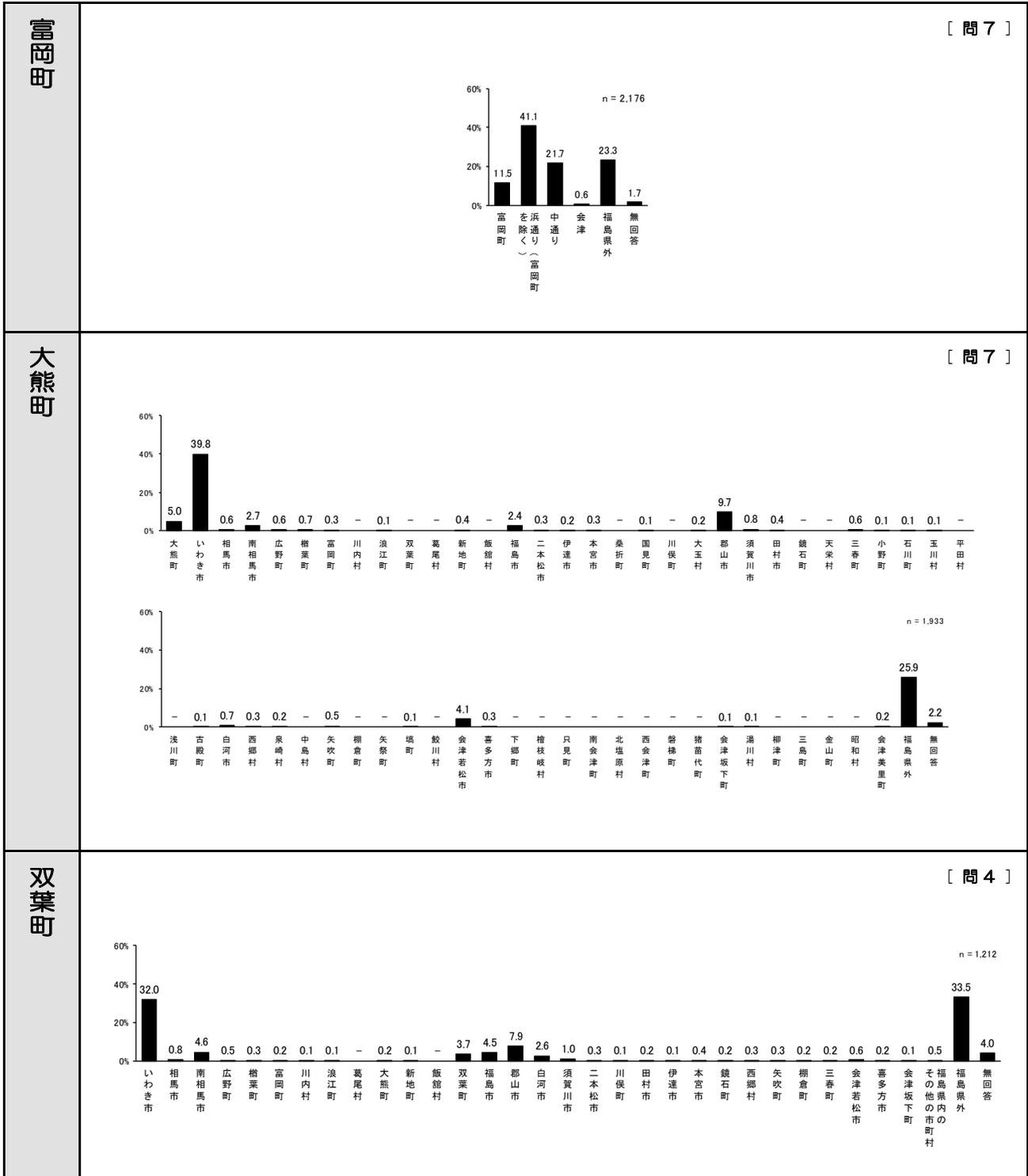
※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=1,177	すでに生活基盤が できているから 63.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 41.0%	医療環境に 不安があるから 26.4%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 21.8%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 17.8%
大熊町 令和5年度 n=1,141	すでに生活基盤が できているから 60.9%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.1%	医療環境に 不安があるから 34.4%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 30.3%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 20.9%
双葉町 令和5年度 n=687	避難先で自宅を購入または 建築し、将来も継続的に 居住する予定だから 54.6%	すでに自宅を解体して しまっているから 42.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 35.1%	医療環境に 不安があるから 31.6%	生活に必要な商店などが 元に戻りそうにないから 23.0%
浪江町 令和5年度 n=1,476	すでに生活基盤が できているから 56.4%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 54.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 41.9%	医療環境に不安が あるから 41.2%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 26.8%

III 調査結果

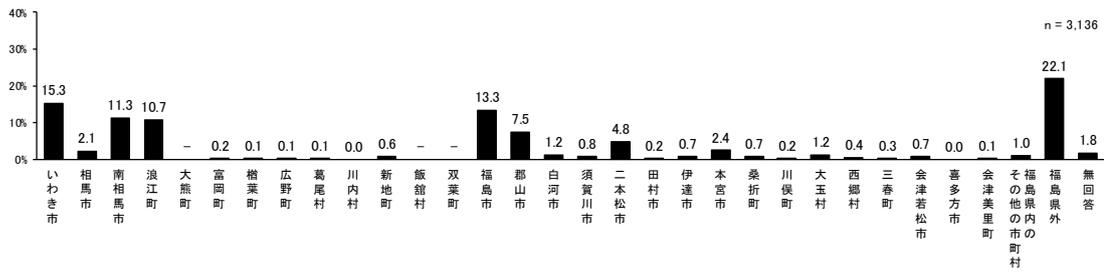
3-1 現在の世帯の状況

3-1-1 現在の住まいの場所

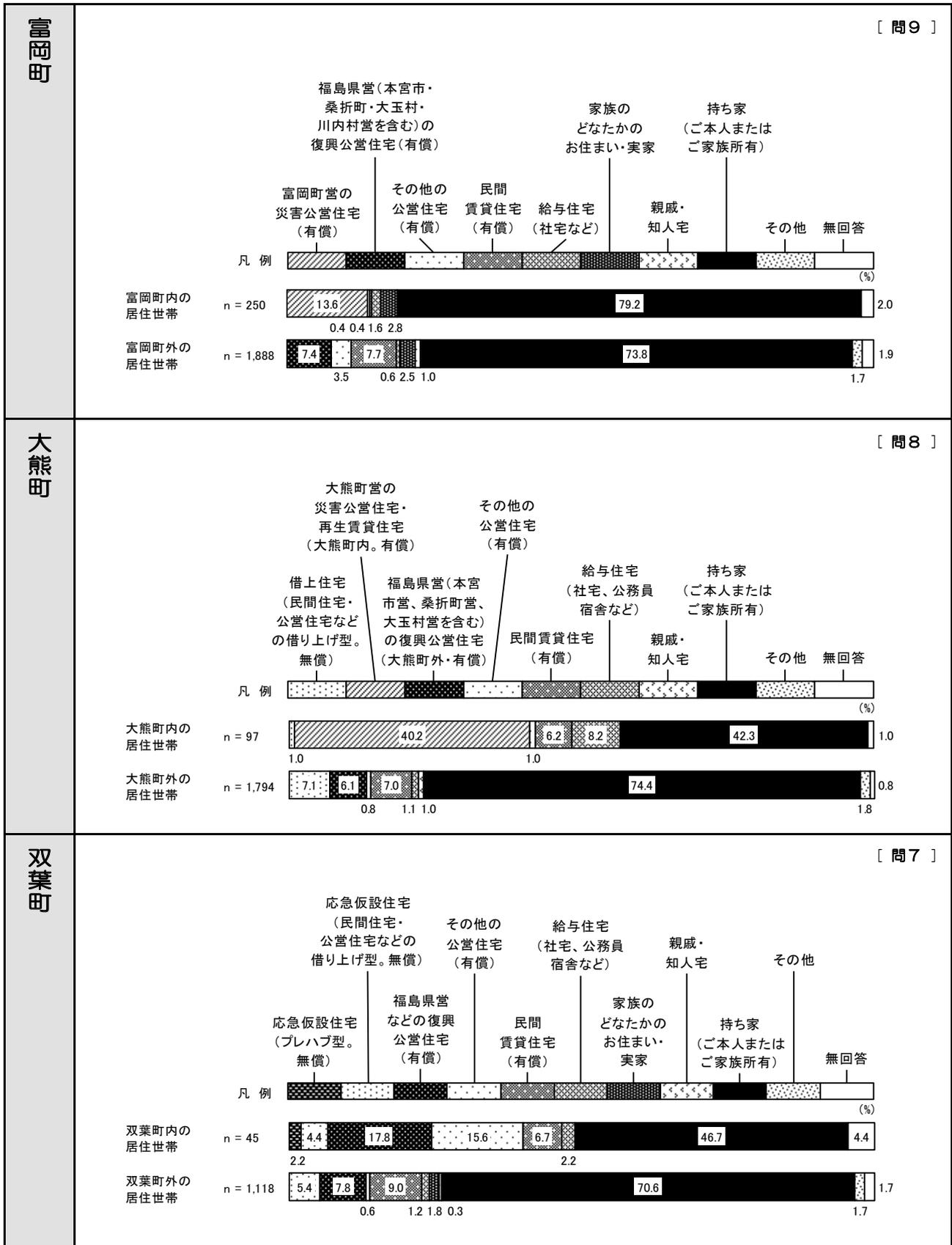


浪江町

[問 4]

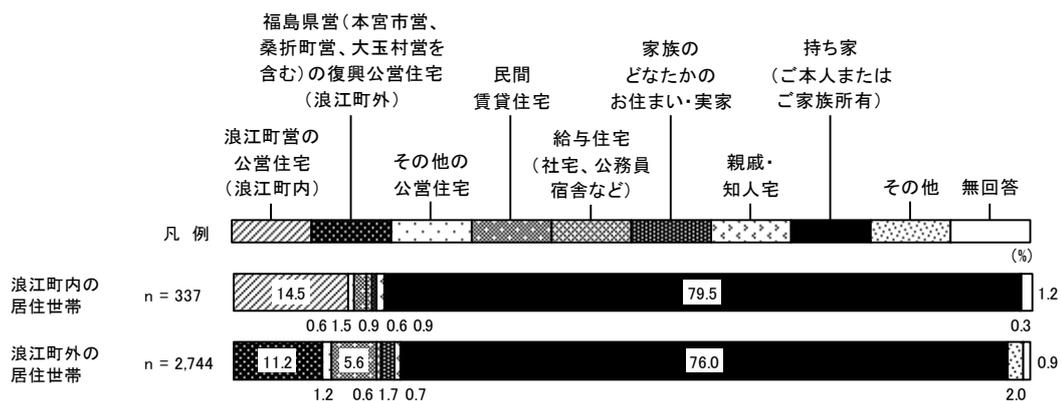


3-1-2 現在の住居形態

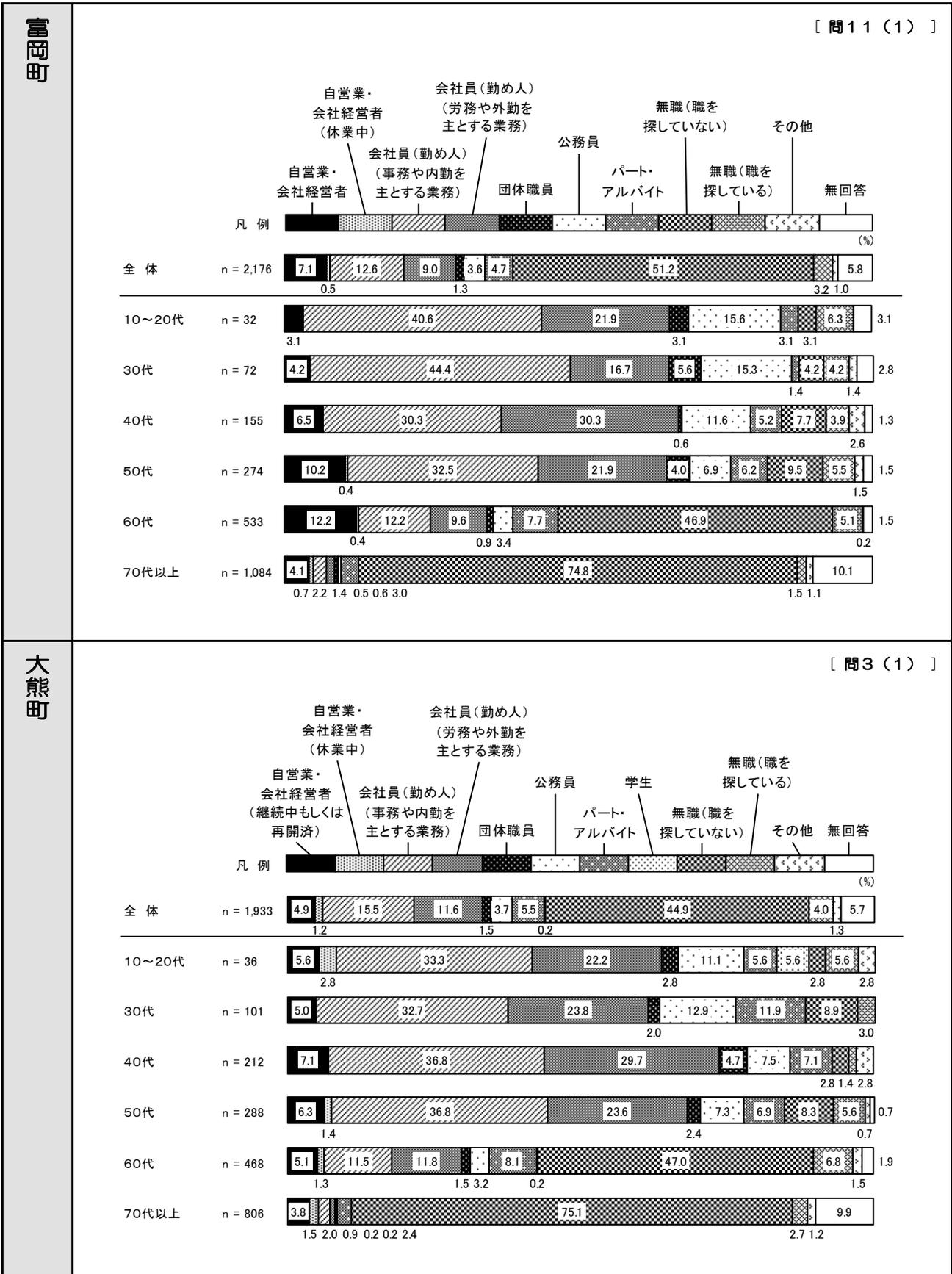


浪江町

[問 5]

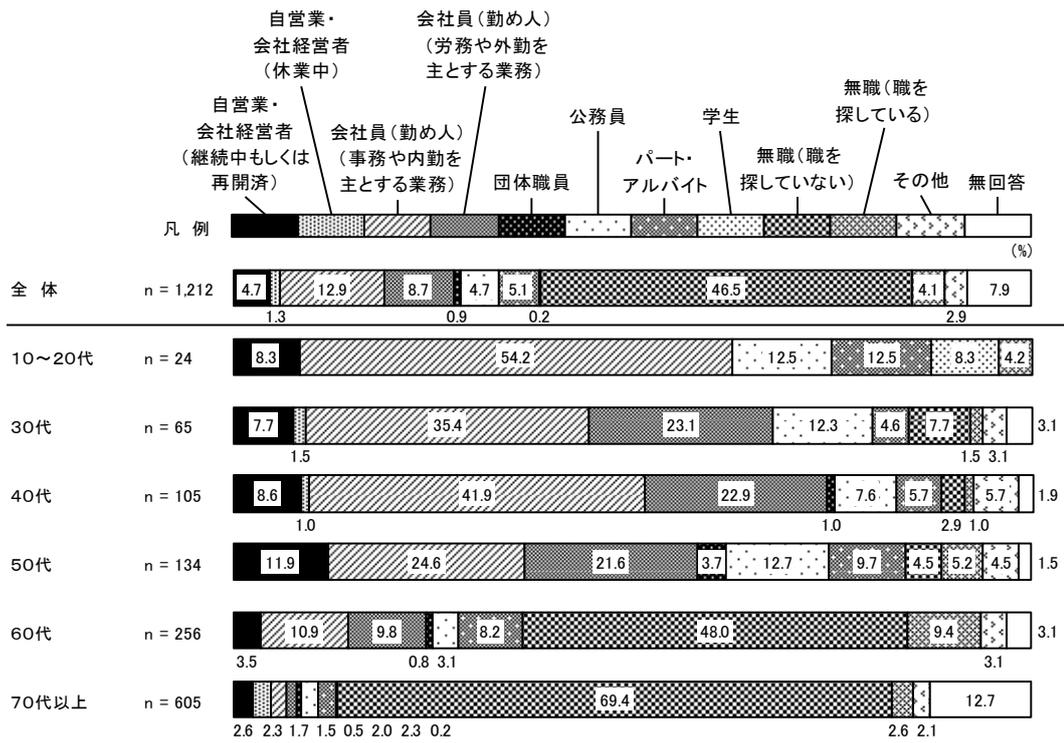


3-1-3 現在の職業（就業形態）



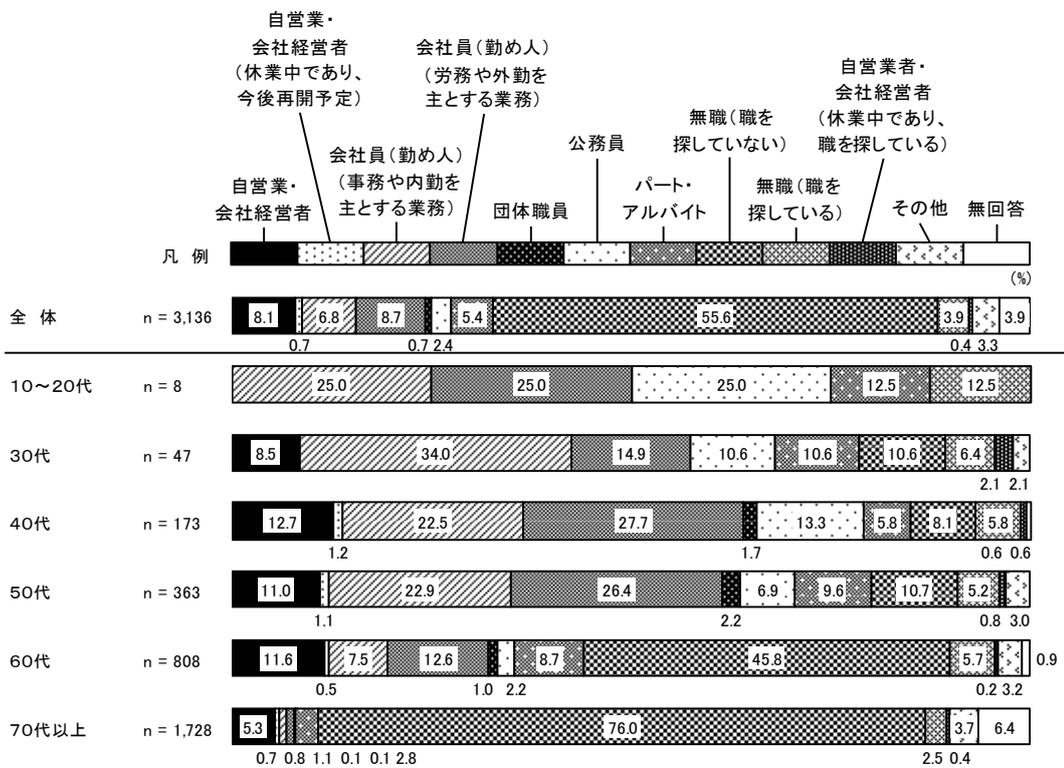
双葉町

[問6 (1)]



浪江町

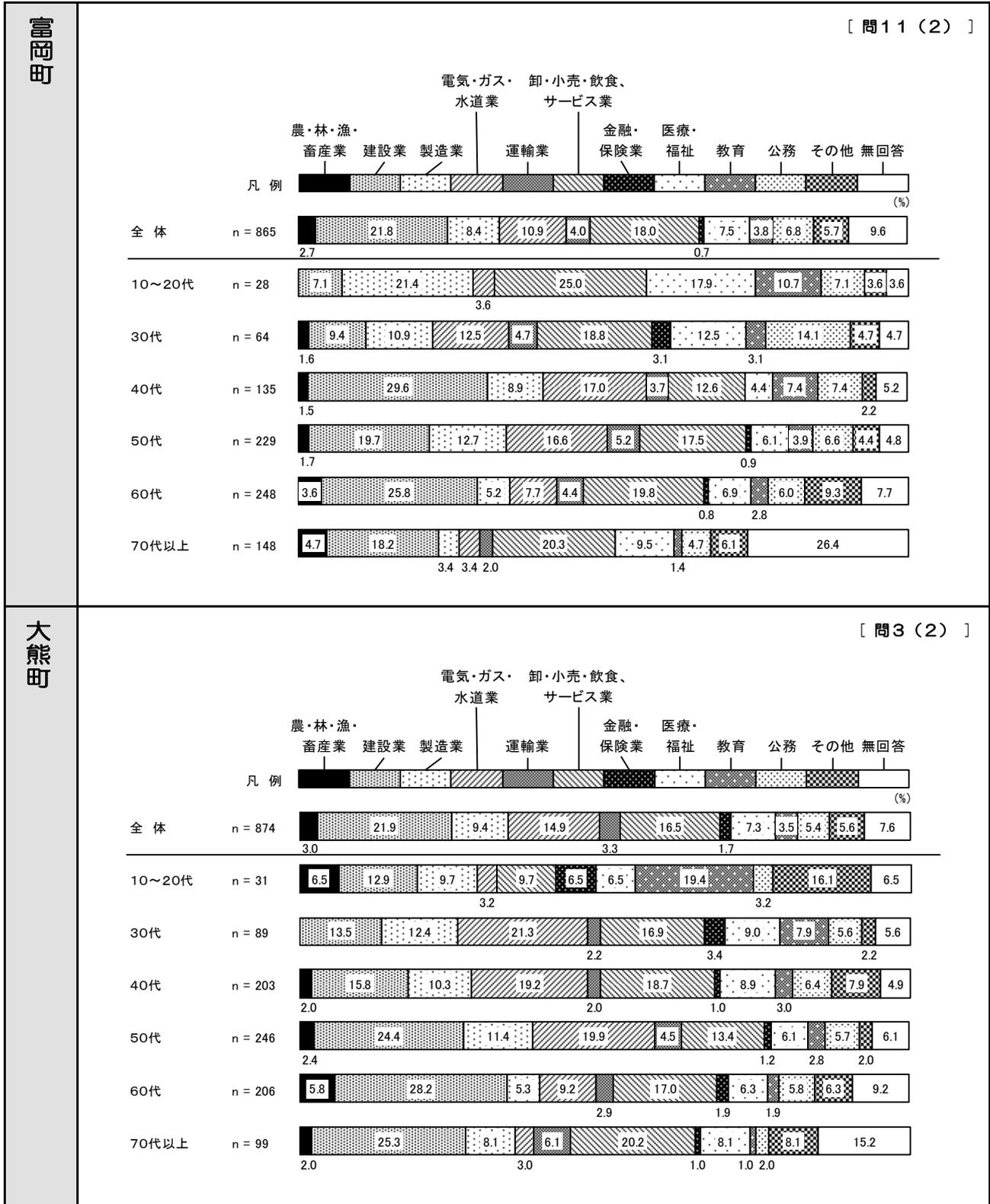
[問2 (1)]



3-1-4 現在の業種

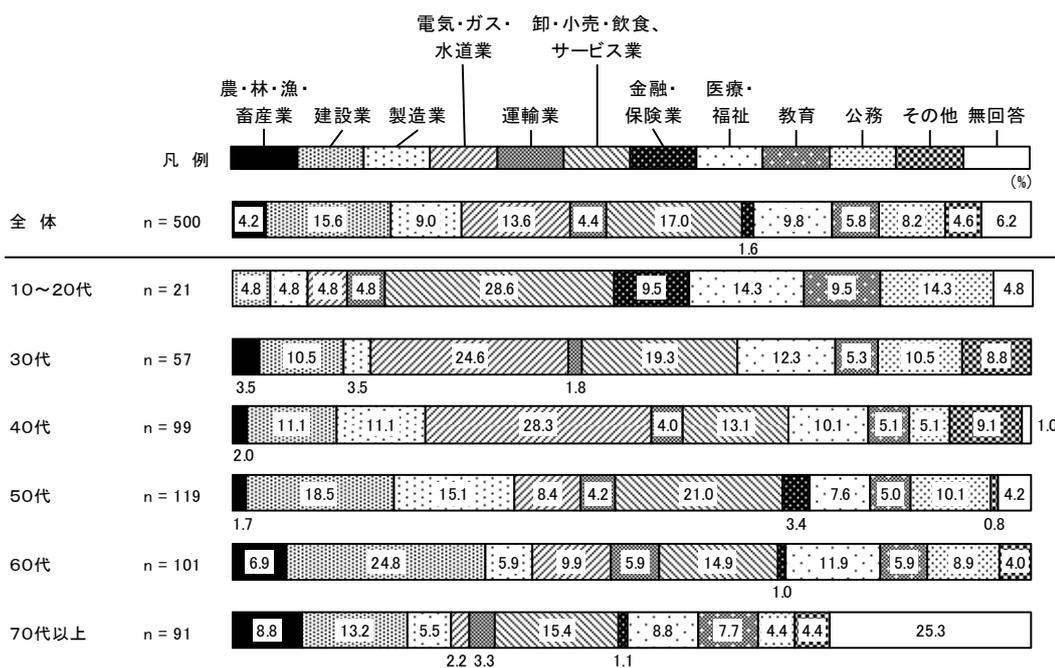
※富岡町、大熊町、双葉町は、現在の職業（就業形態）で「学生」「無職（職を探していない）」「無職（職を探している）」以外と回答した世帯のみ集計対象

※浪江町は、現在の職業（就業形態）で「自営業者・会社経営者（休業中であり、職を探している）」「無職（職を探していない）」「無職（職を探している）」以外と回答した世帯のみ集計対象



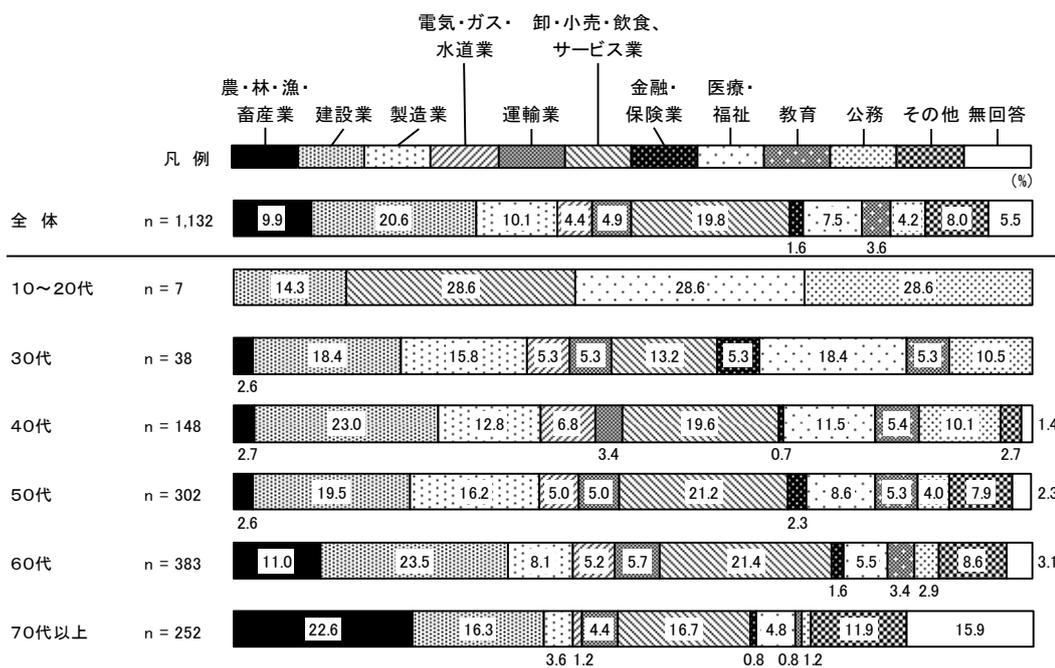
双葉町

[問6 (2)]



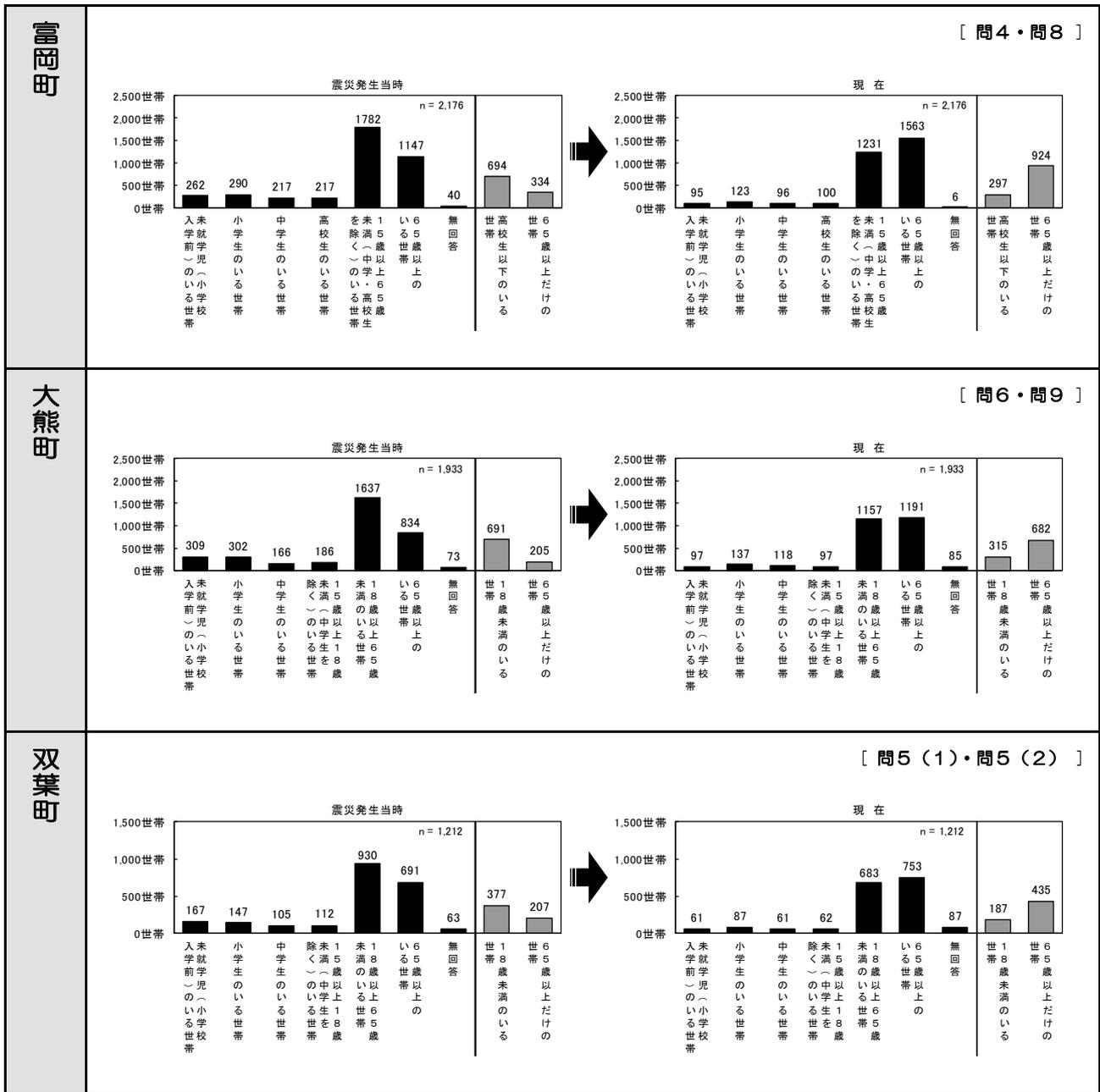
浪江町

[問2 (2)]



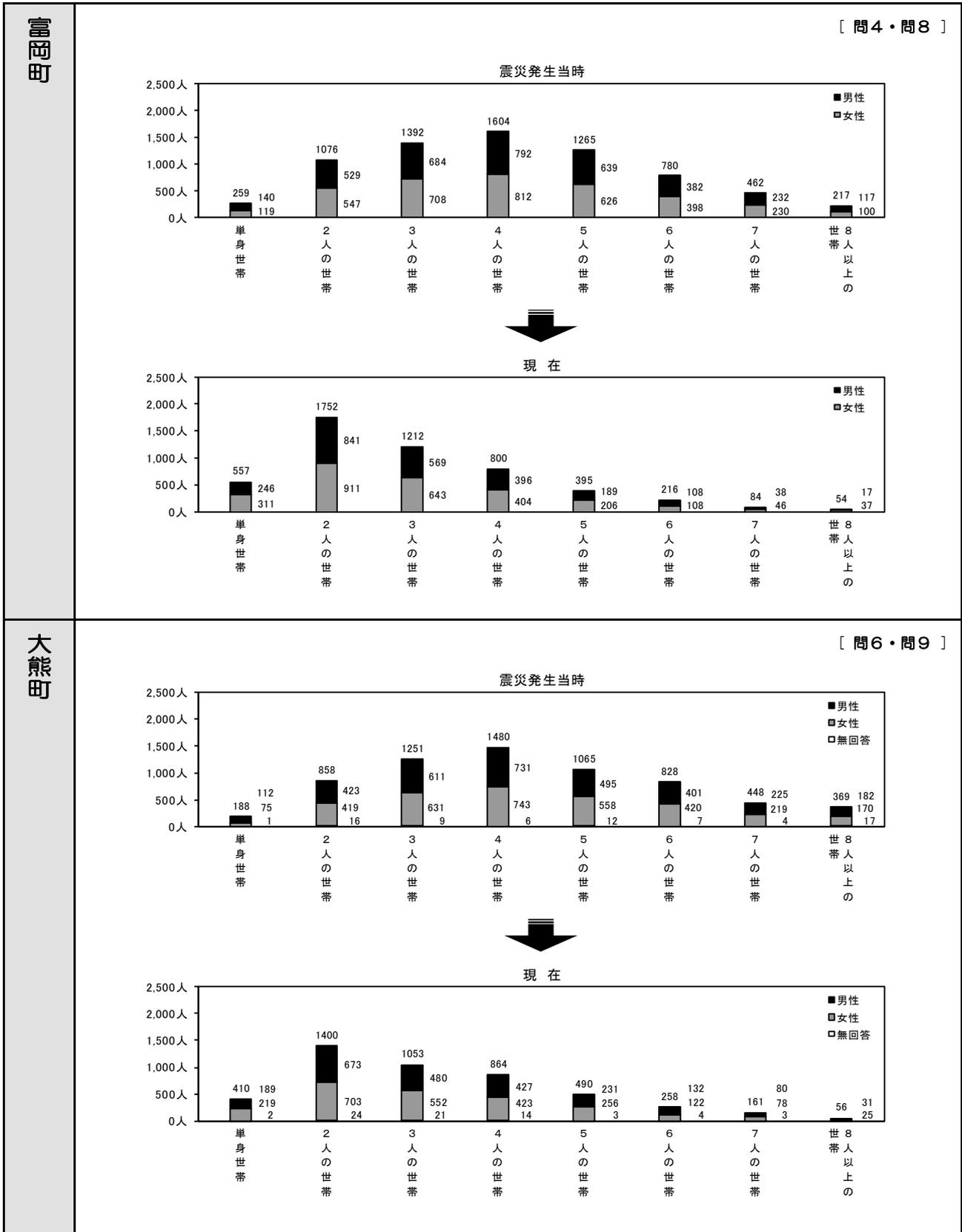
3-1-5 世帯構成

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町



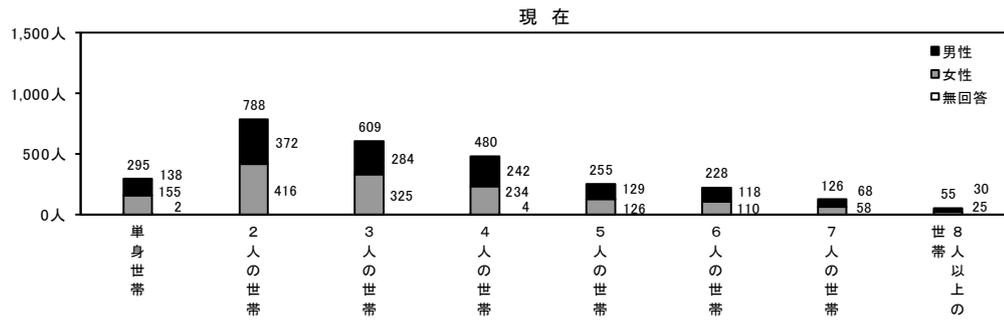
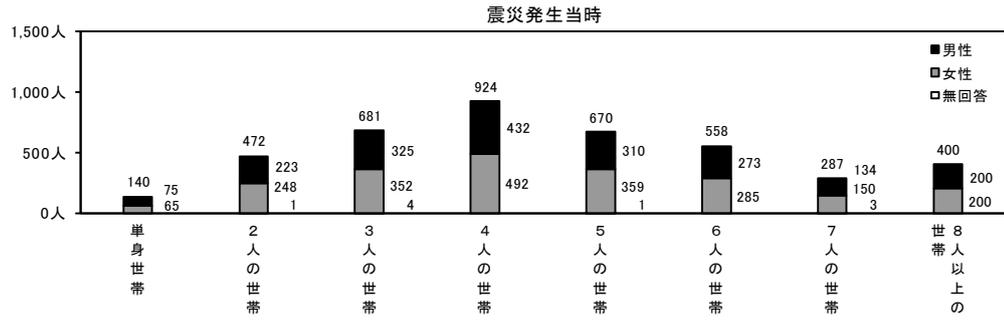
3-1-6 世帯人数

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

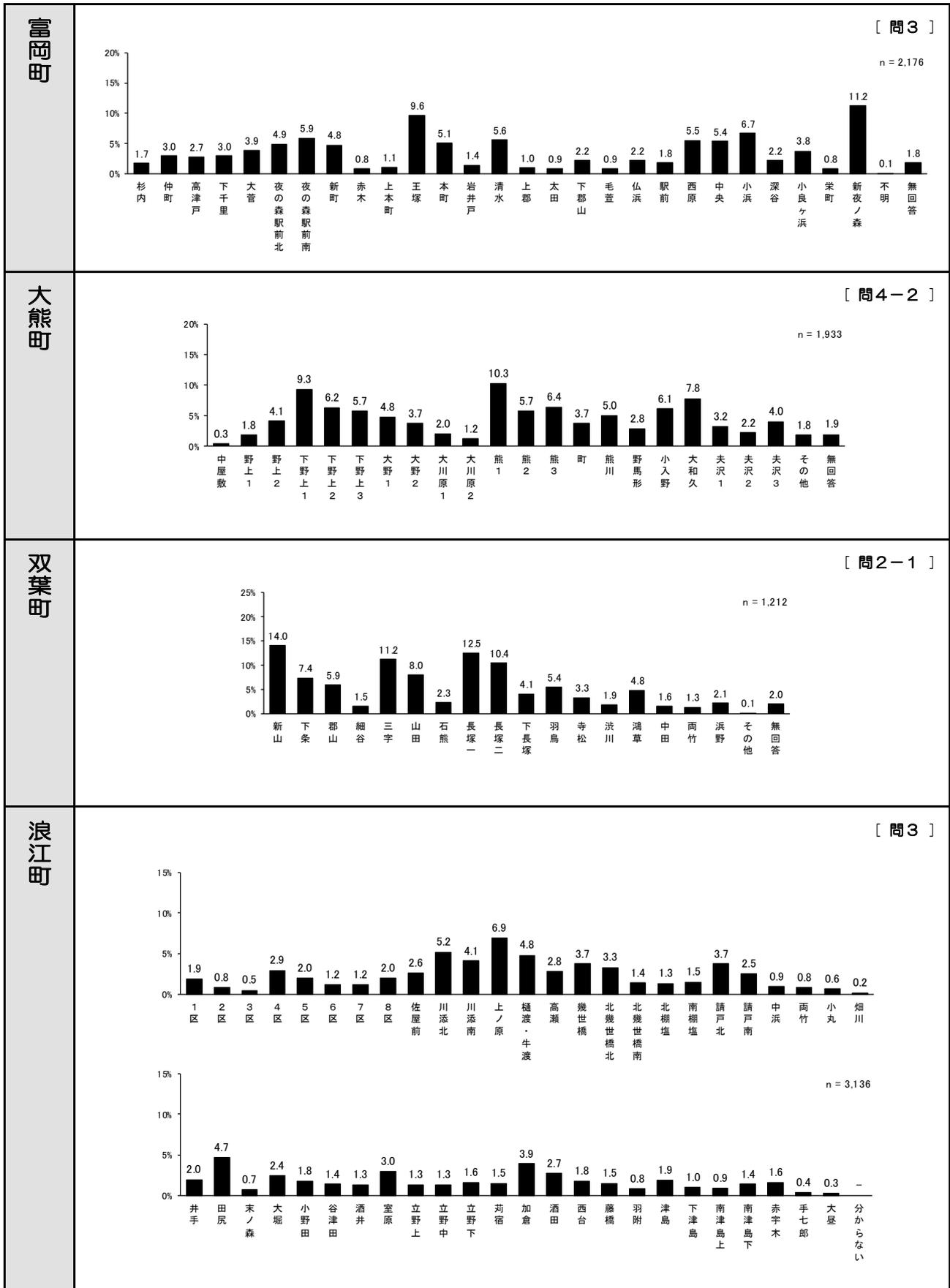


双葉町

[問5(1)・問5(2)]

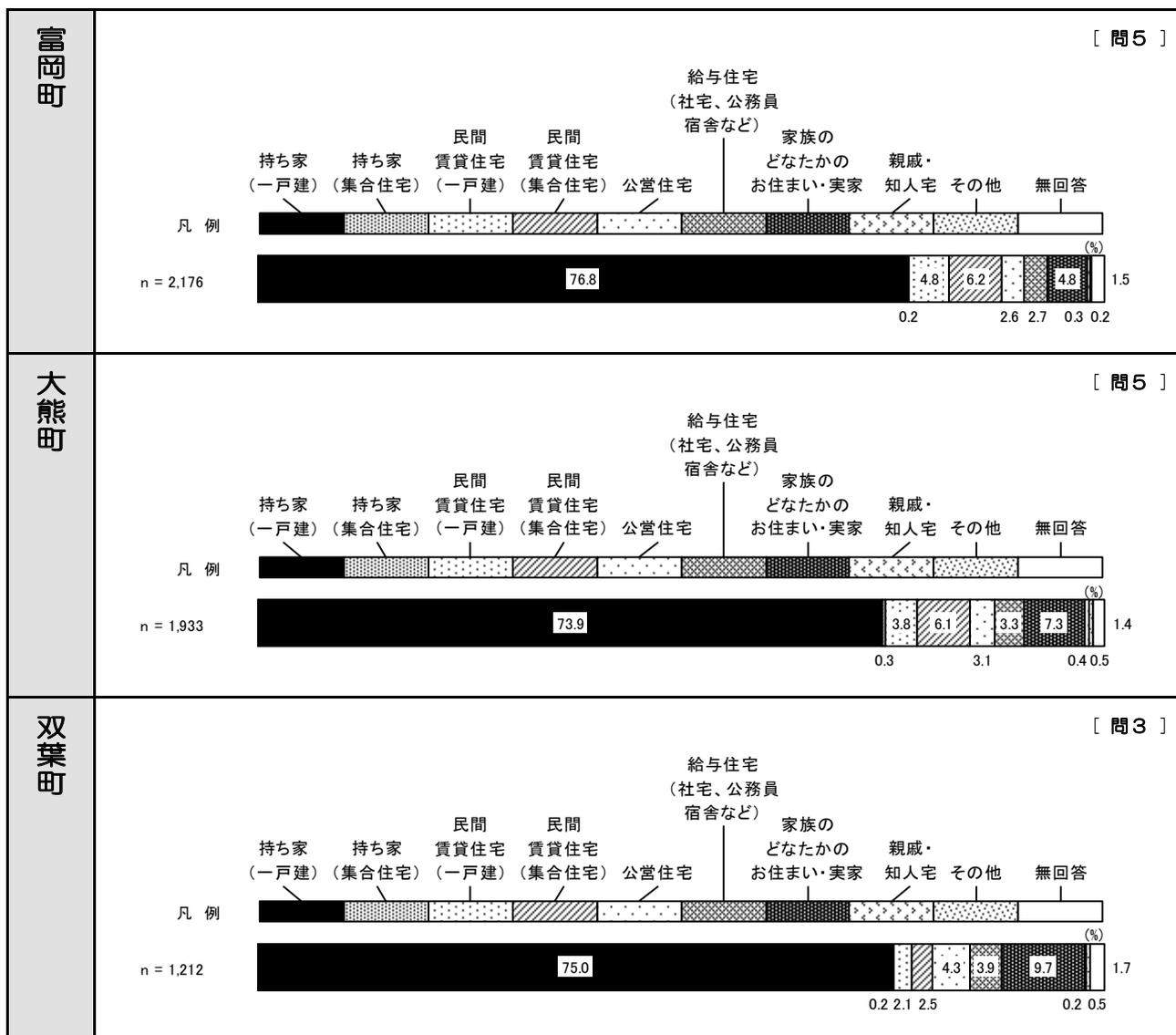


3-1-7 震災発生当時の住まいの行政区



3-1-8 震災発生当時の住居形態

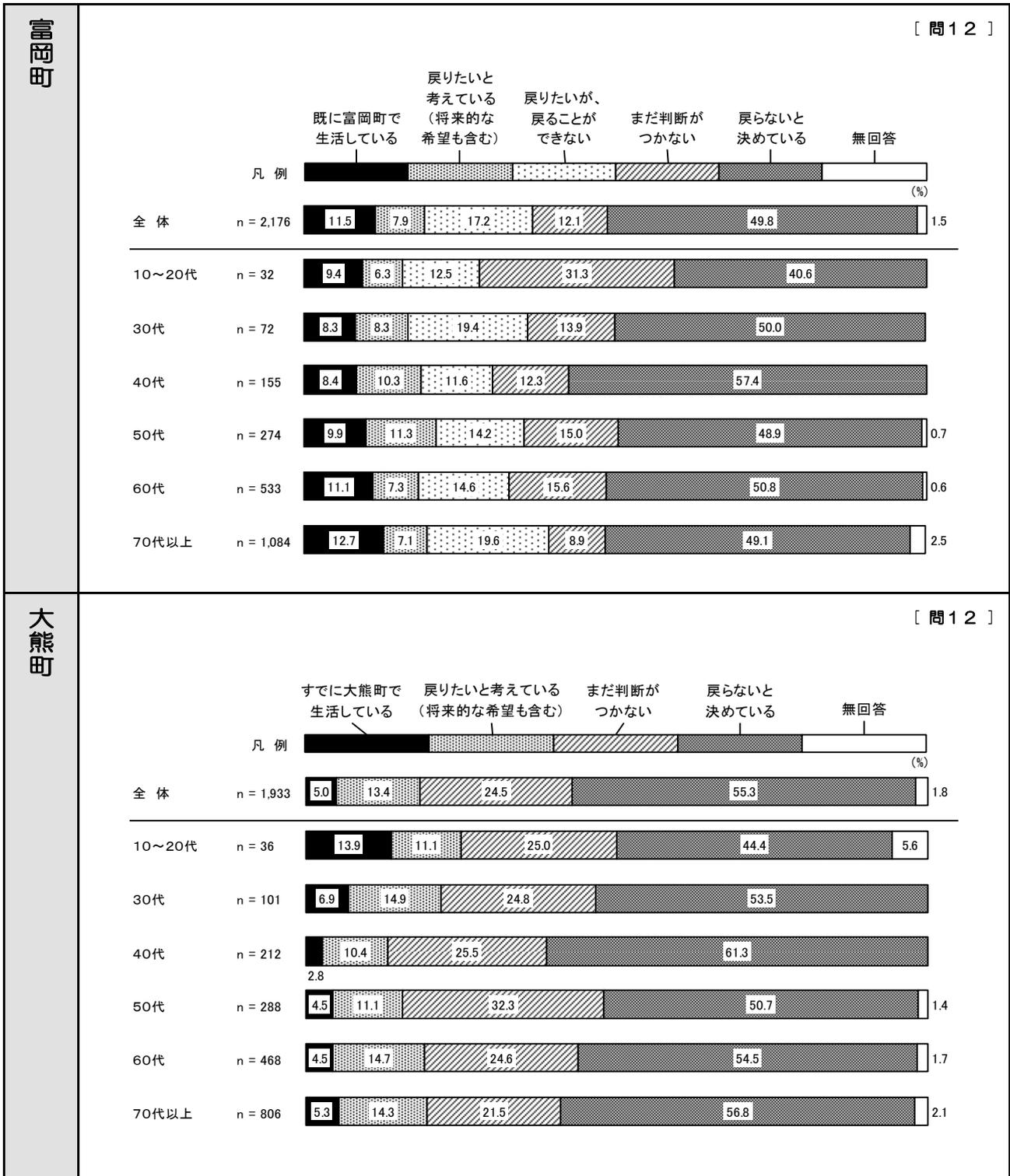
※対象町：富岡町、大熊町、双葉町



3-2 将来に関する世帯意向

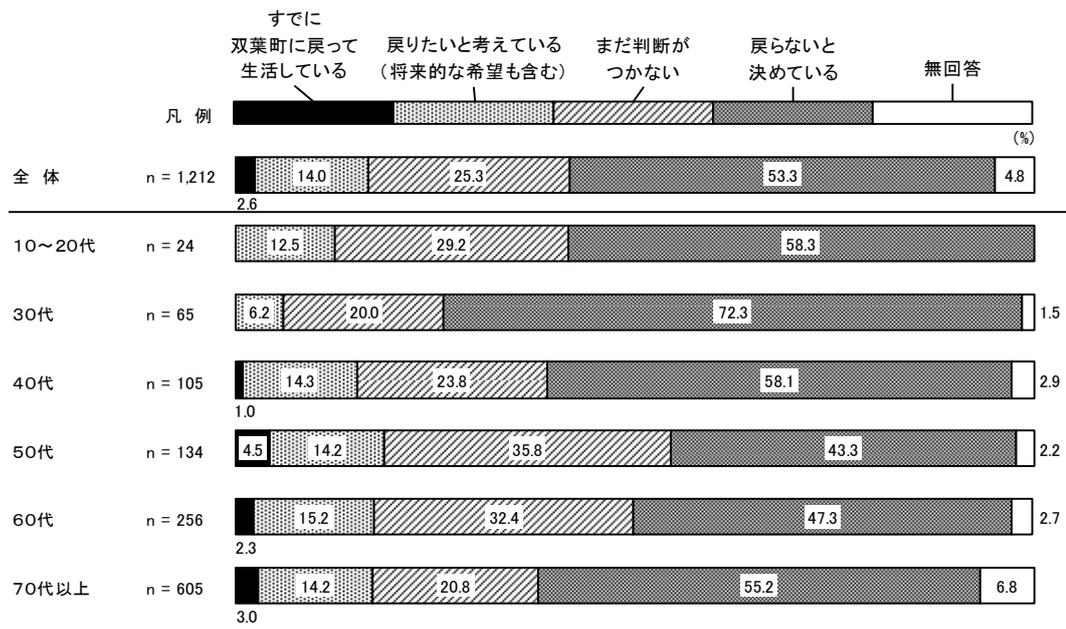
3-2-1 帰還意向

(1) 年齢別帰還意向



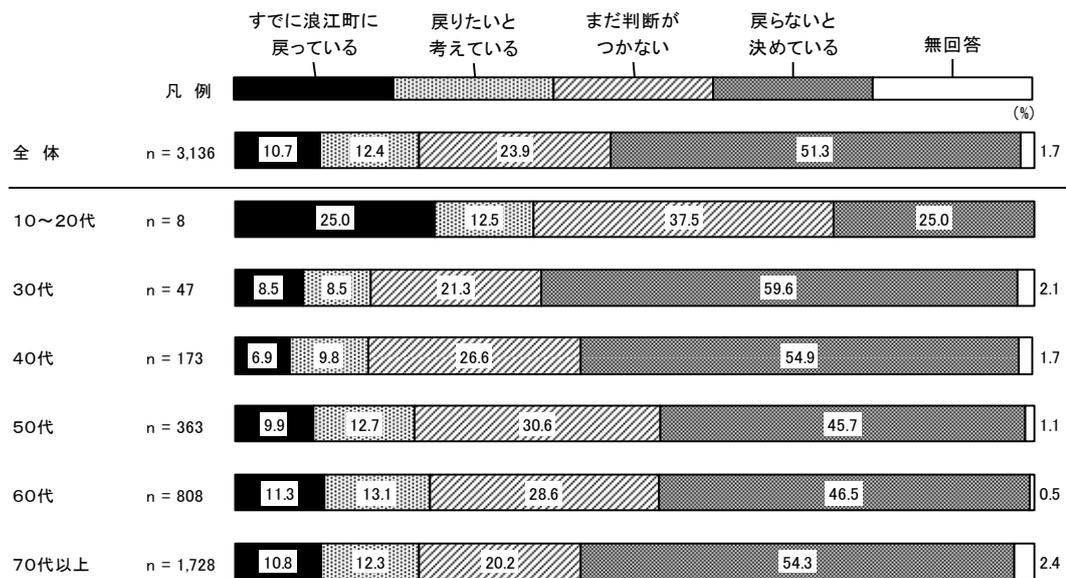
双葉町

[問 10]

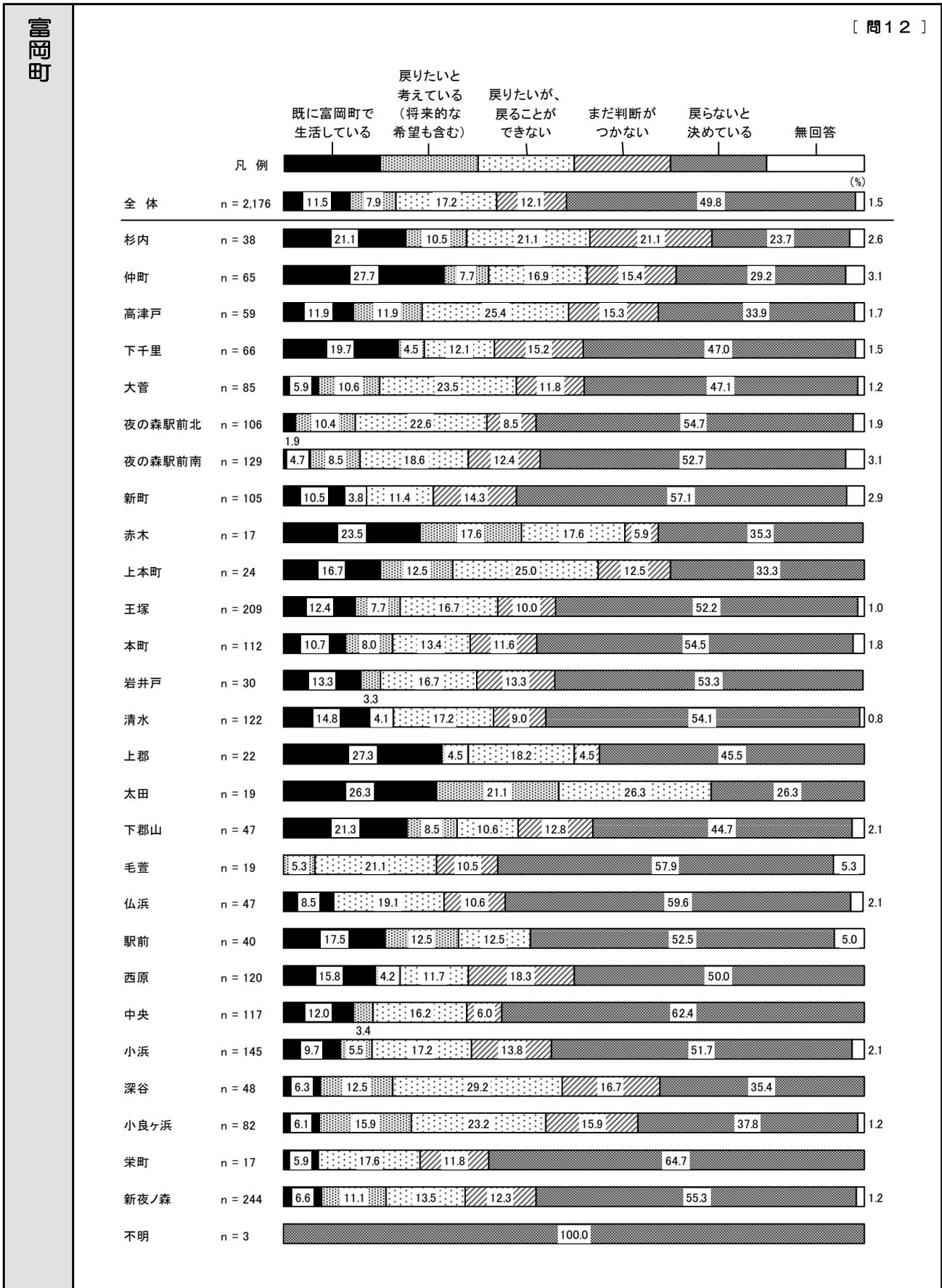


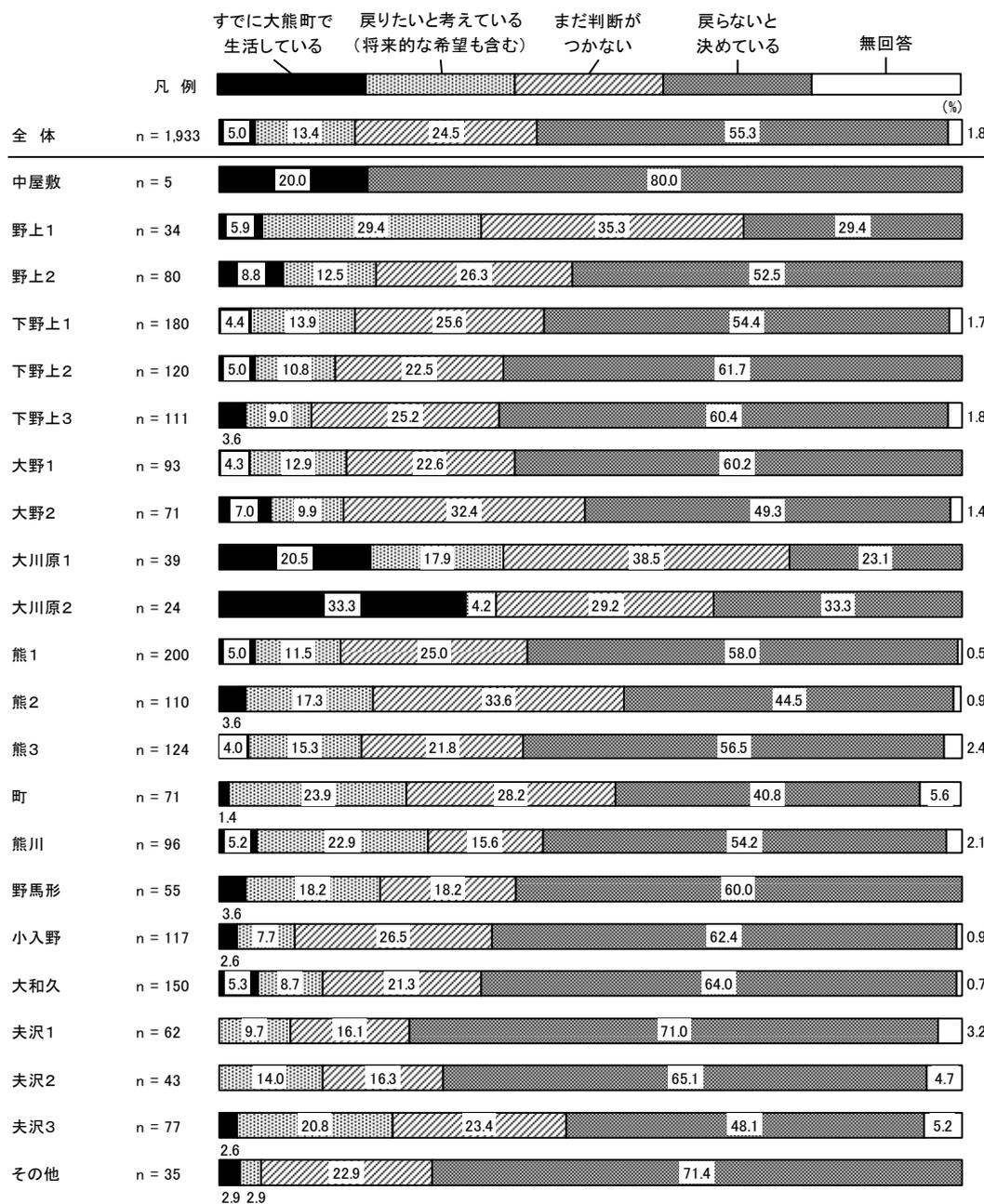
浪江町

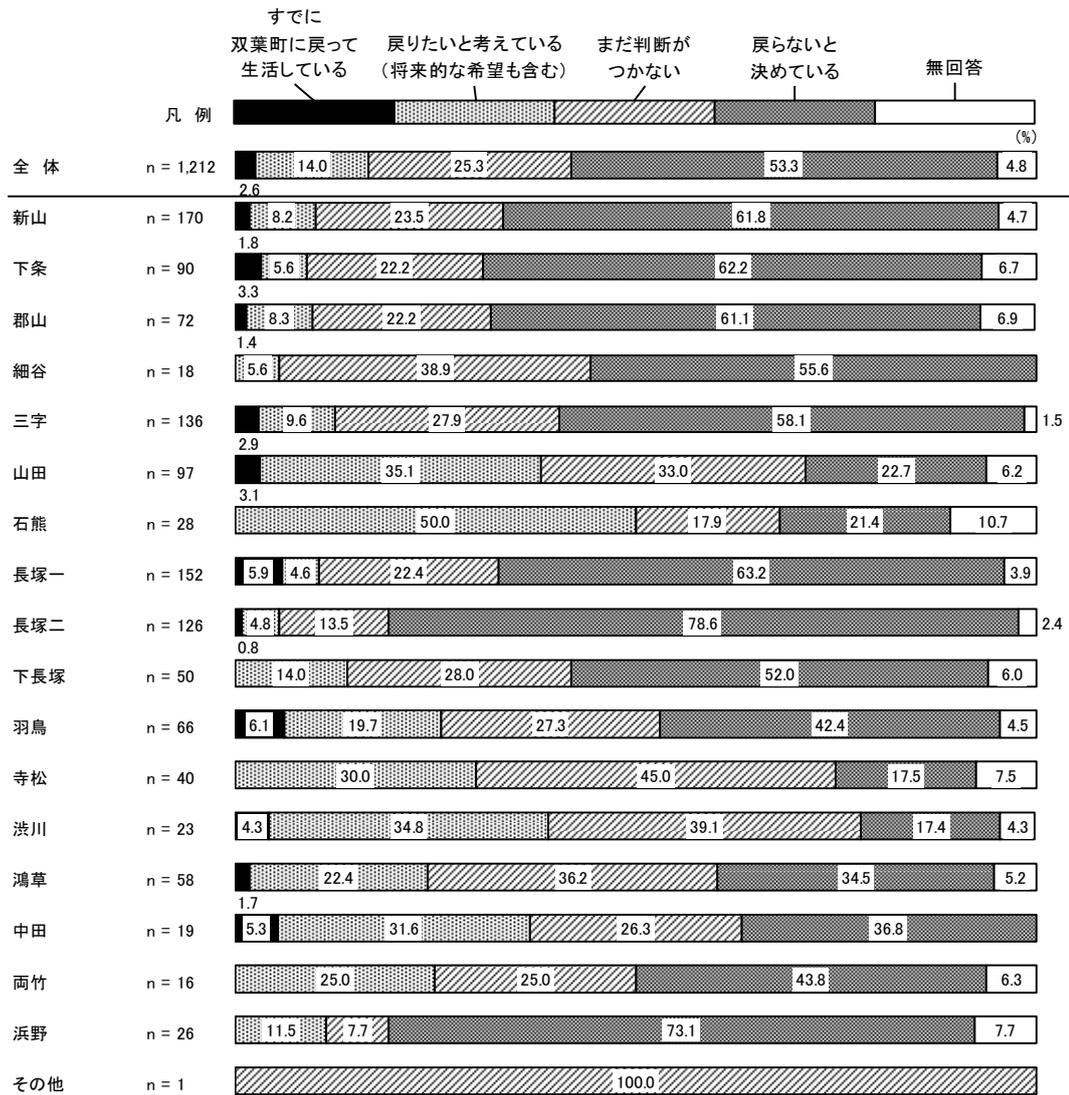
[問 6]

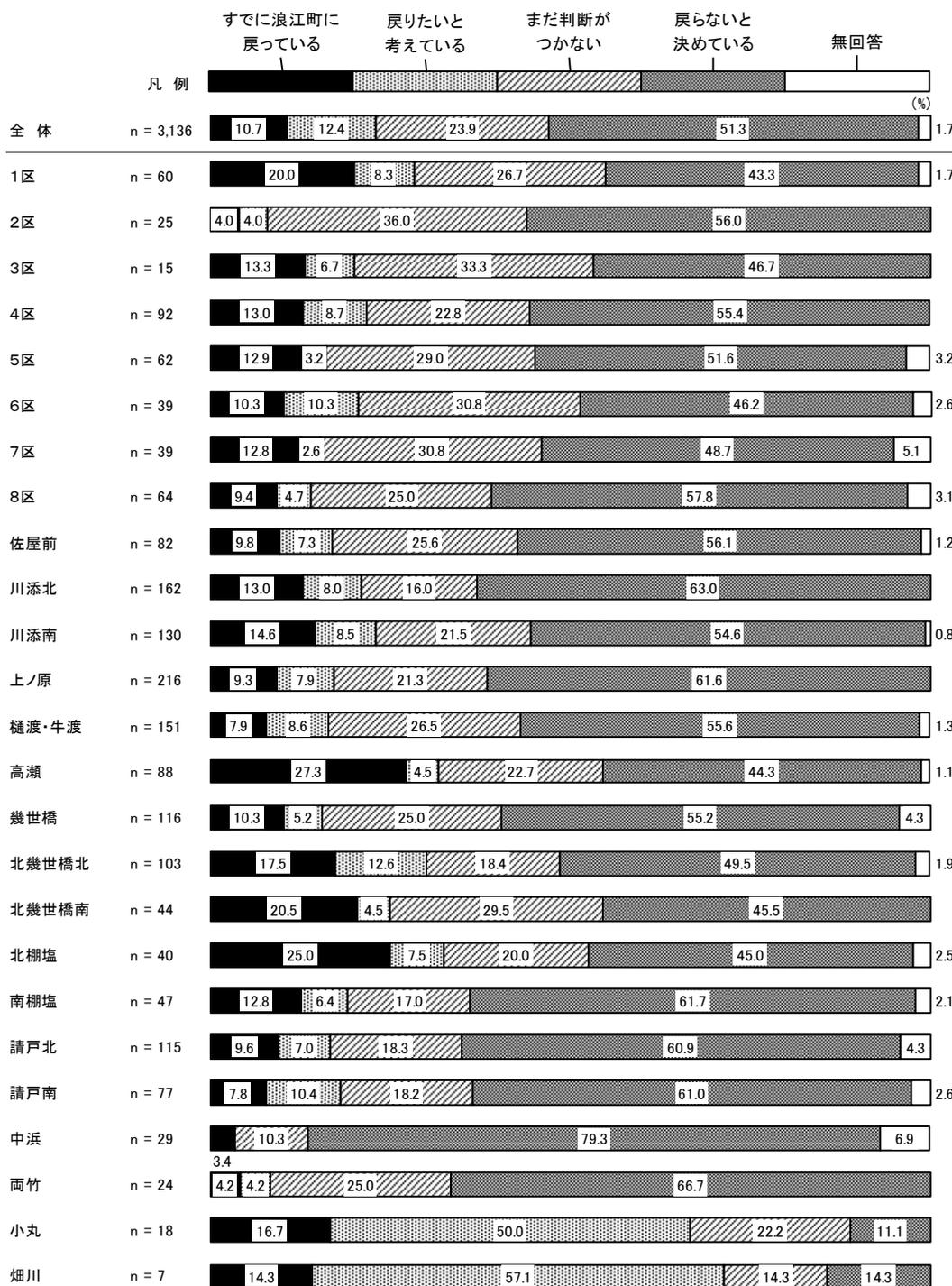


(2) 震災発生当時の住まいの行政区別帰還意向

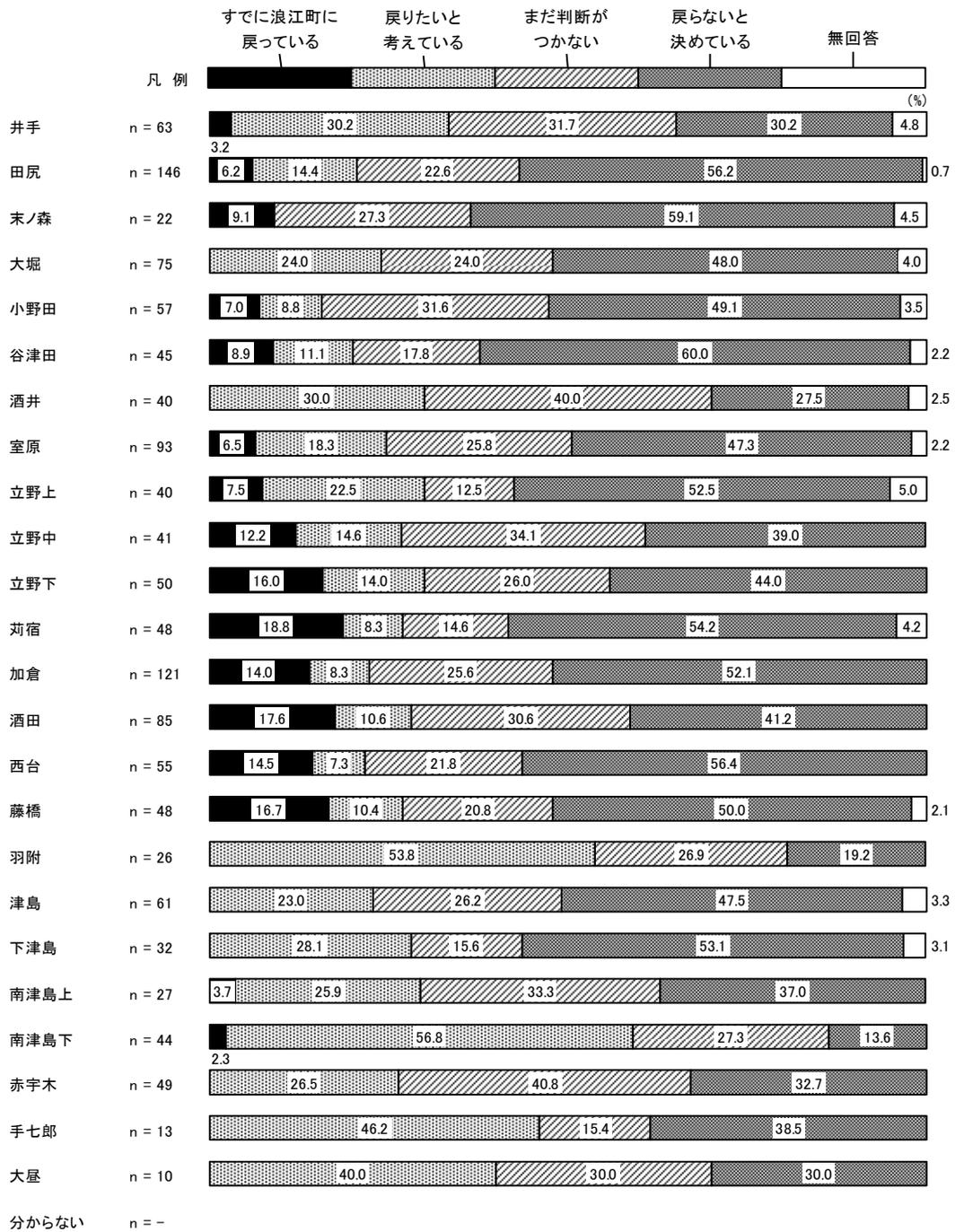




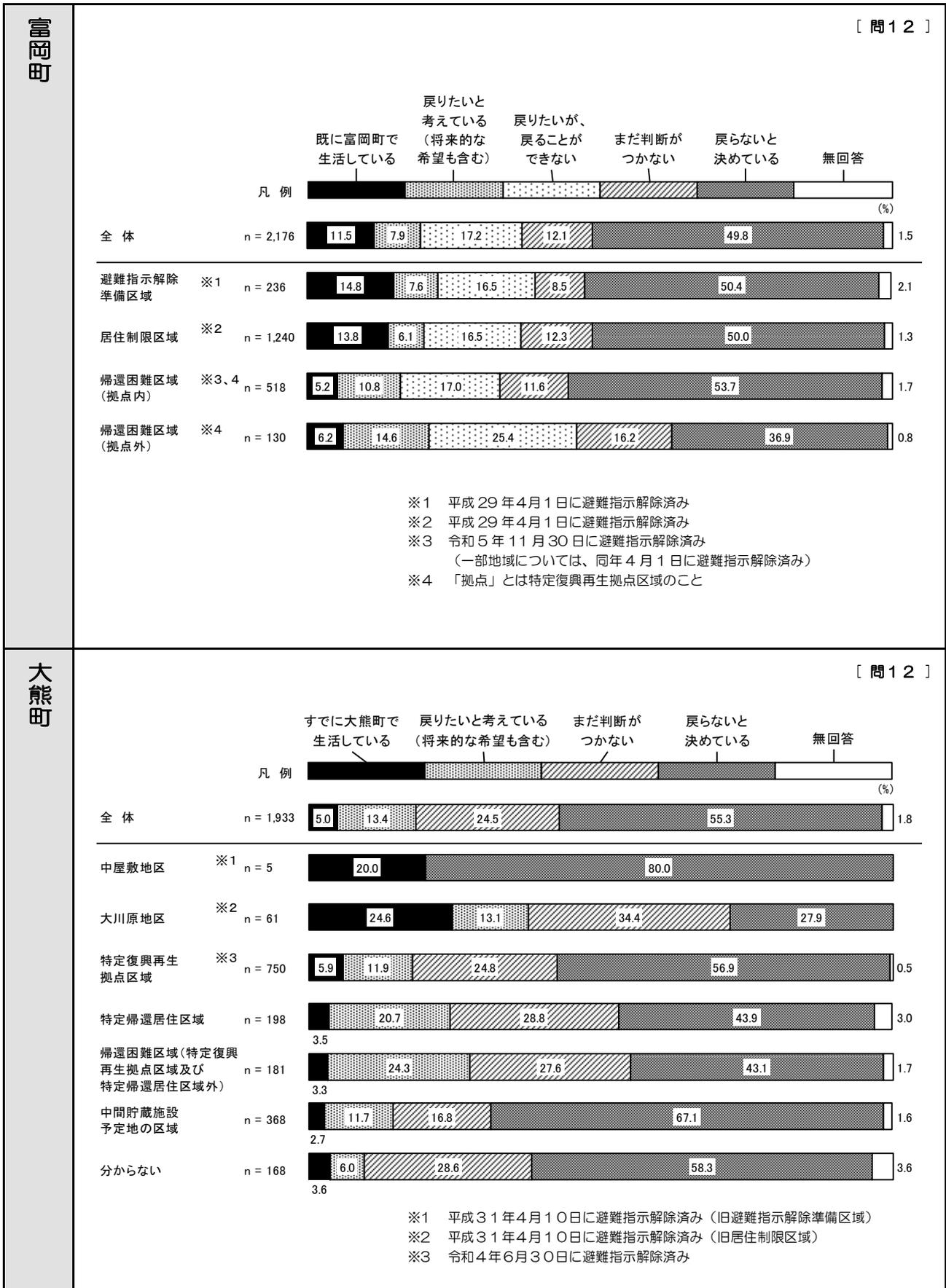




浪江町 (続き)

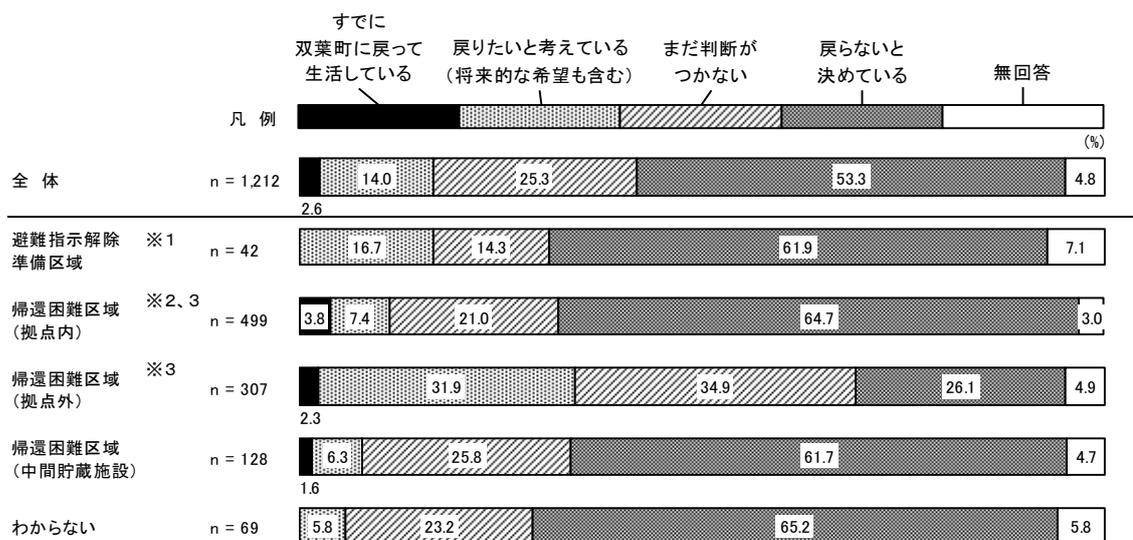


(3) 避難指示区域別帰還意向



双葉町

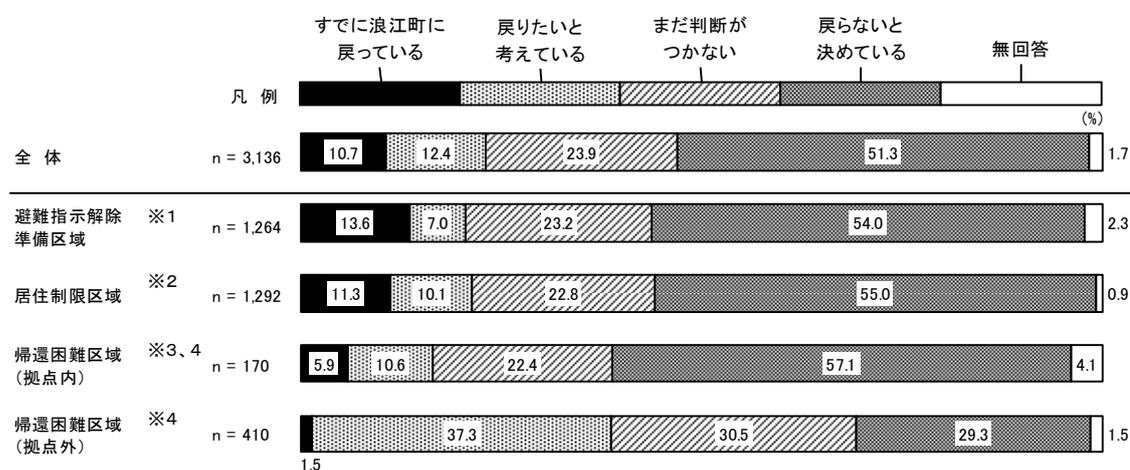
[問 10]



- ※1 令和2年3月4日に避難指示解除済み
- ※2 令和4年8月30日に避難指示解除済み
- ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

浪江町

[問 6]



- ※1 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※2 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※3 令和5年3月31日に避難指示解除済み
- ※4 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

(4) 現在の世帯構成別帰還意向

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

富岡町	[問 1 2]						
	調査数	既に富岡町で生活している	戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	戻りたいが、戻ることができない	まだ判断がつかない	戻らないと決めている	無回答
全体	2176 100.0	250 11.5	172 7.9	375 17.2	263 12.1	1084 49.8	32 1.5
単身世帯:計	557 100.0	90 16.2	38 6.8	98 17.6	60 10.8	257 46.1	14 2.5
15歳以上65歳未満(中学生・高校生を除く)	147 100.0	27 18.4	11 7.5	14 9.5	23 15.6	71 48.3	1 0.7
65歳以上	410 100.0	63 15.4	27 6.6	84 20.5	37 9.0	186 45.4	13 3.2
女性	311 100.0	39 12.5	19 6.1	57 18.3	24 7.7	163 52.4	9 2.9
2人以上の世帯:計	1613 100.0	158 9.8	133 8.2	276 17.1	201 12.5	827 51.3	18 1.1
未就学児(小学校入学前)のいる世帯	95 100.0	10 10.5	8 8.4	20 21.1	9 9.5	48 50.5	-
小学生のいる世帯	123 100.0	10 8.1	10 8.1	24 19.5	14 11.4	65 52.8	-
中学生のいる世帯	96 100.0	5 5.2	15 15.6	15 15.6	9 9.4	51 53.1	1 1.0
高校生のいる世帯	100 100.0	6 6.0	11 11.0	12 12.0	12 12.0	59 59.0	-
15歳以上65歳未満(中学生・高校生を除く)のいる世帯	1084 100.0	91 8.4	102 9.4	194 17.9	145 13.4	545 50.3	7 0.6
65歳以上のいる世帯	1153 100.0	130 11.3	75 6.5	205 17.8	126 10.9	599 52.0	18 1.6
女性のいる世帯	1585 100.0	149 9.4	131 8.3	268 16.9	198 12.5	821 51.8	18 1.1
65歳以上の世帯	514 100.0	64 12.5	29 5.6	80 15.6	56 10.9	274 53.3	11 2.1

大熊町	[問 1 2]						
	調査数	すでに大熊町で生活している	戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	まだ判断がつかない	戻らないと決めている	無回答	
全体	1933 100.0	97 5.0	259 13.4	474 24.5	1069 55.3	34 1.8	
単身世帯:計	410 100.0	40 9.8	54 13.2	90 22.0	219 53.4	7 1.7	
15歳以上65歳未満(中学生を除く)	154 100.0	17 11.0	24 15.6	46 29.9	67 43.5	-	
65歳以上	300 100.0	25 8.3	38 12.7	55 18.3	175 58.3	7 2.3	
女性	218 100.0	13 6.0	22 10.1	45 20.6	133 61.0	5 2.3	
2人以上の世帯:計	1438 100.0	52 3.6	192 13.4	358 24.9	815 56.7	21 1.5	
未就学児(小学校入学前)のいる世帯	97 100.0	2 2.1	9 9.3	25 25.8	61 62.9	-	
小学生のいる世帯	137 100.0	2 1.5	15 10.9	29 21.2	90 65.7	1 0.7	
中学生のいる世帯	118 100.0	1 0.8	11 9.3	29 24.6	77 65.3	-	
15歳以上18歳未満(中学生を除く)のいる世帯	97 100.0	1 1.0	7 7.2	35 36.1	51 52.6	3 3.1	
18歳以上65歳未満のいる世帯	1003 100.0	25 2.5	122 12.2	260 25.9	581 57.9	15 1.5	
65歳以上のいる世帯	935 100.0	37 4.0	143 15.3	222 23.7	518 55.4	15 1.6	
女性のいる世帯	1393 100.0	46 3.3	185 13.3	345 24.8	801 57.5	16 1.1	
65歳以上の世帯	426 100.0	26 6.1	68 16.0	96 22.5	231 54.2	5 1.2	

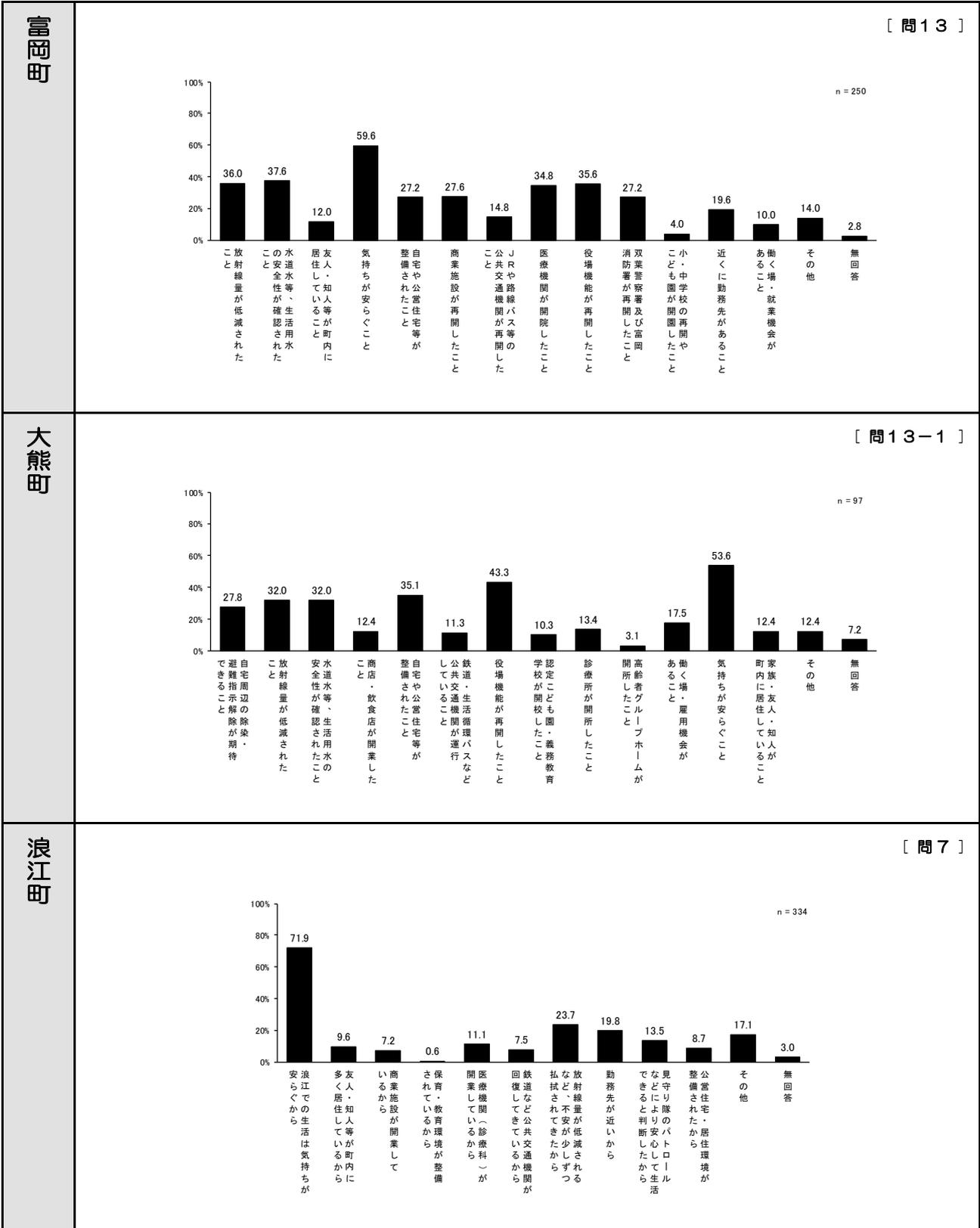
	調査数	すでに双葉町に戻って生活している	戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	まだ判断がつかない	戻らないと決めている	無回答
全体	1212 100.0	31 2.6	170 14.0	307 25.3	646 53.3	58 4.8
単身世帯:計	282 100.0	18 6.4	31 11.0	71 25.2	153 54.3	9 3.2
15歳以上65歳未満(中学生を除く)	102 100.0	7 6.9	11 10.8	33 32.4	50 49.0	1 1.0
65歳以上	179 100.0	11 6.1	20 11.2	38 21.2	102 57.0	8 4.5
女性	150 100.0	7 4.7	13 8.7	34 22.7	91 60.7	5 3.3
2人以上の世帯:計	830 100.0	11 1.3	127 15.3	214 25.8	448 54.0	30 3.6
未就学児(小学校入学前)のいる世帯	60 100.0	-	5 8.3	18 30.0	37 61.7	-
小学生のいる世帯	87 100.0	-	14 16.1	18 20.7	52 59.8	3 3.4
中学生のいる世帯	61 100.0	-	8 13.1	12 19.7	39 63.9	2 3.3
15歳以上18歳未満(中学生を除く)のいる世帯	62 100.0	-	10 16.1	16 25.8	34 54.8	2 3.2
18歳以上65歳未満のいる世帯	570 100.0	6 1.1	87 15.3	150 26.3	313 54.9	14 2.5
65歳以上のいる世帯	572 100.0	7 1.2	98 17.1	139 24.3	304 53.1	24 4.2
女性のいる世帯	813 100.0	11 1.4	124 15.3	208 25.6	440 54.1	30 3.7
65歳以上の世帯	254 100.0	5 2.0	39 15.4	61 24.0	133 52.4	16 6.3

3-2-2 帰還を決めた理由〔すでに帰還した世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、浪江町

※帰還意向で「元の自治体に戻っている」と回答した世帯のみ集計対象

※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「すでに大熊町で生活している」と回答した世帯のみを抽出して集計

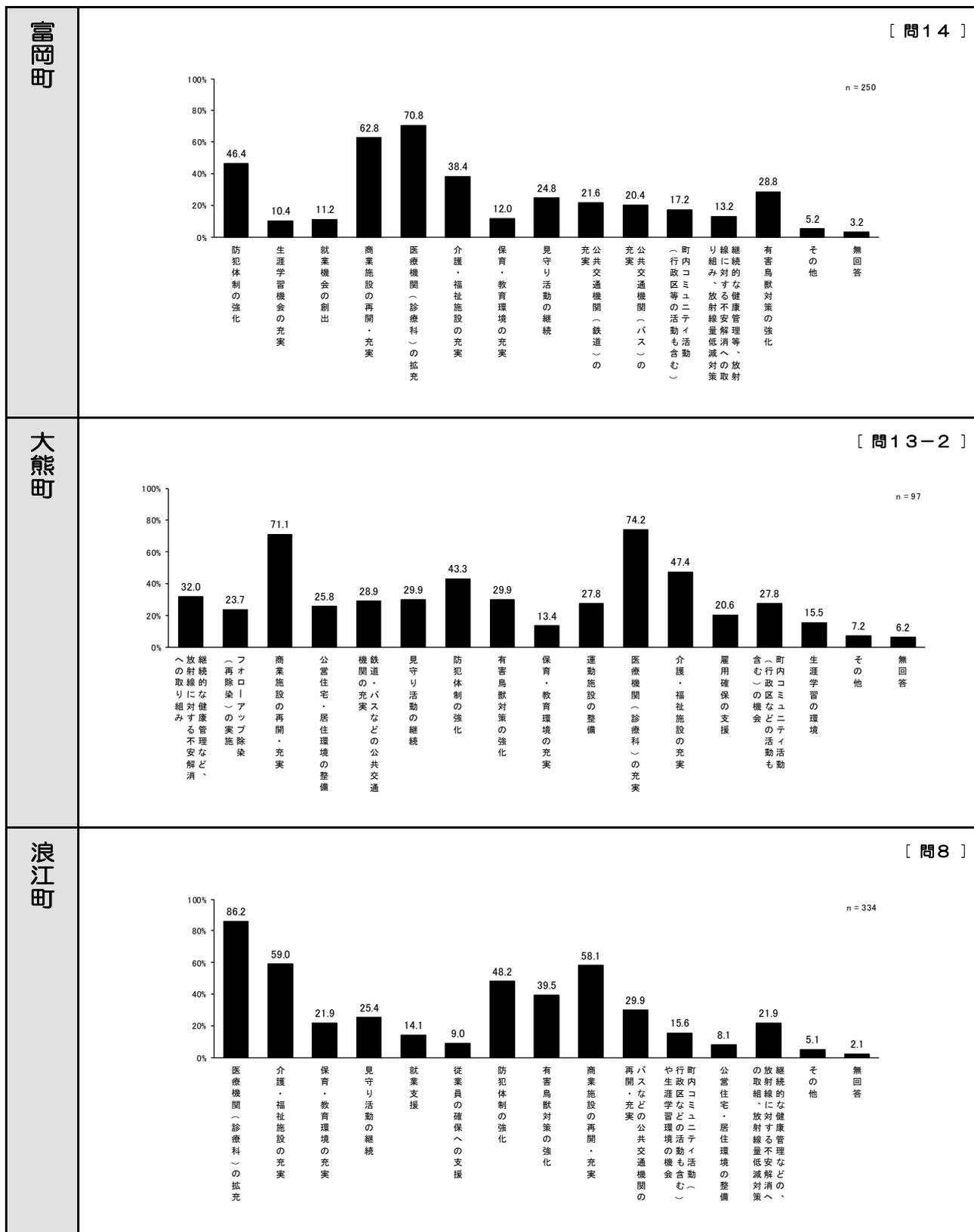


3-2-3 今後の生活において必要な支援〔すでに帰還した世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、浪江町

※帰還意向で「元の自治体に戻っている」と回答した世帯のみ集計対象

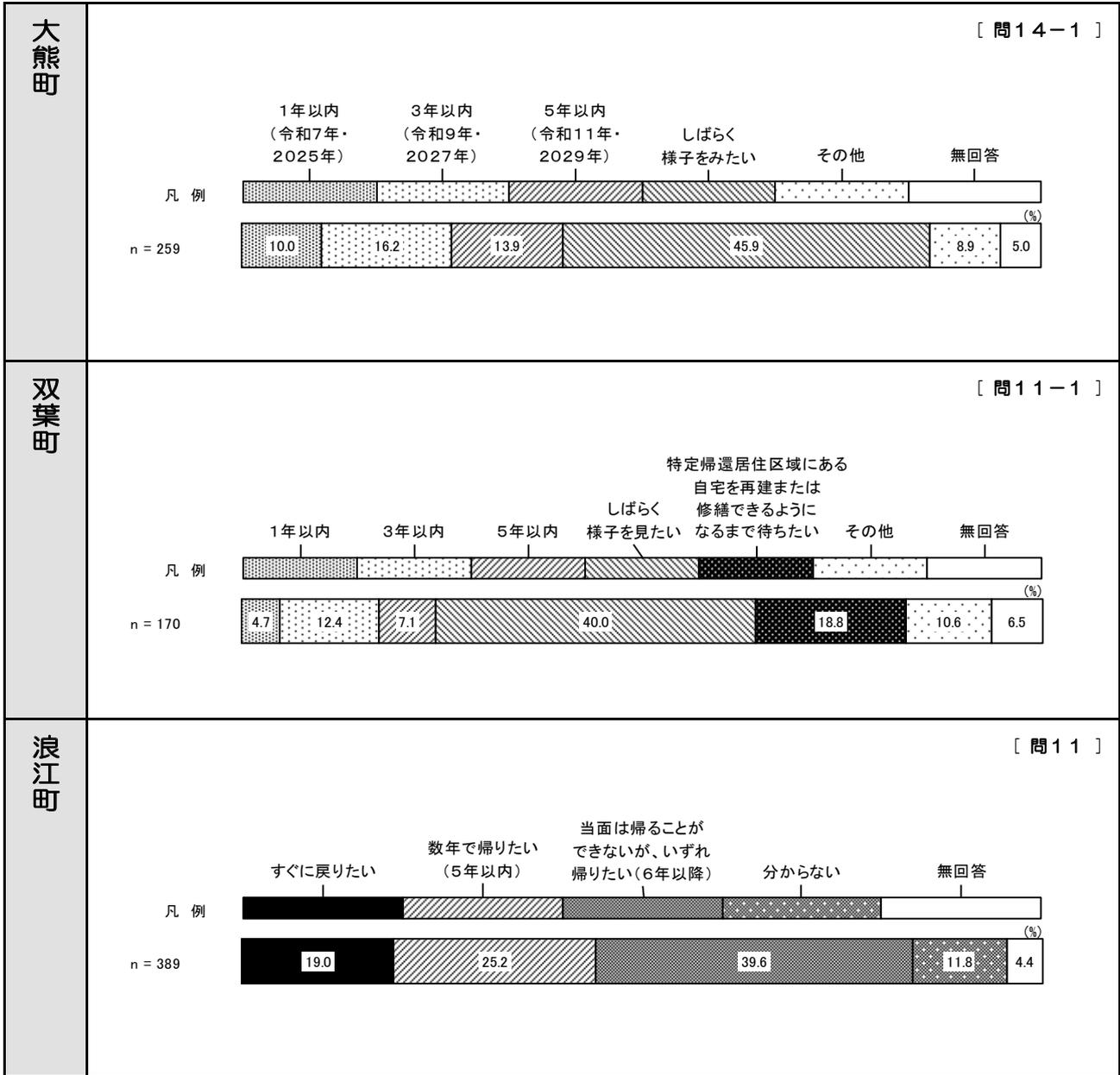
※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「すでに大熊町で生活している」と回答した世帯のみを抽出して集計



3-2-4 帰還時期〔帰還したい世帯〕

※対象町：大熊町、双葉町、浪江町

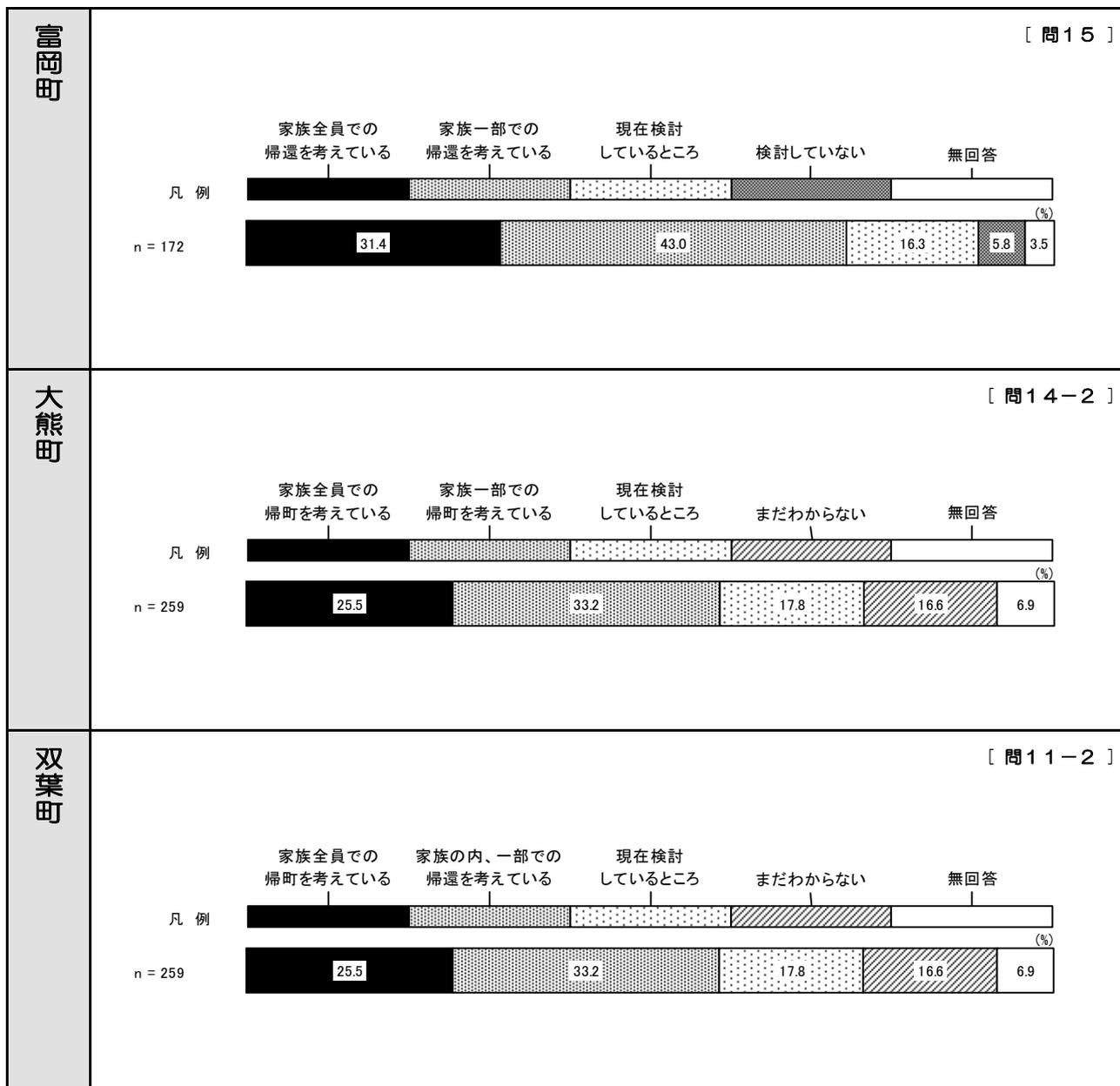
※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象



3-2-5 帰還する場合の家族〔帰還したい世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

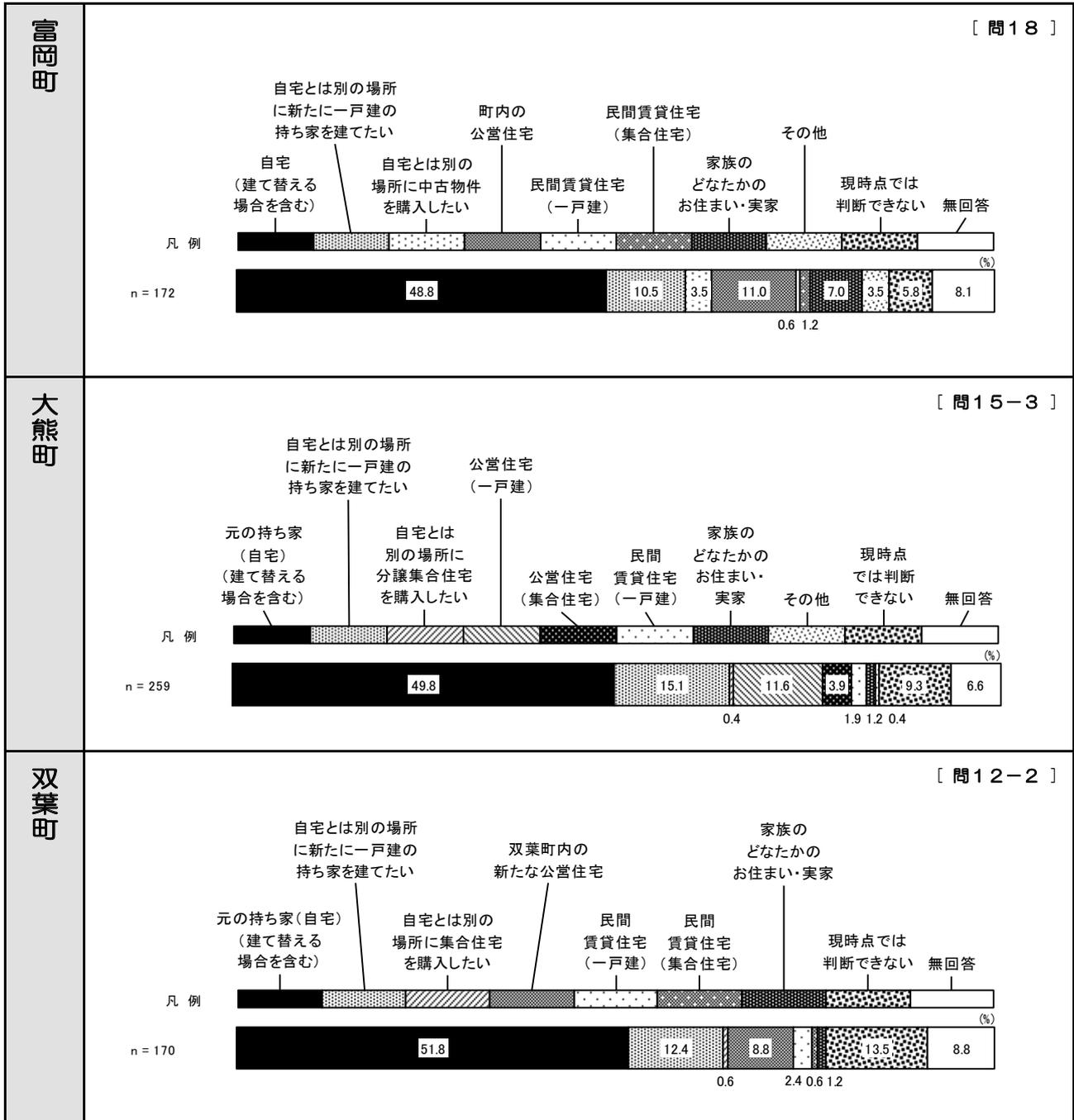


3-2-6 帰還した場合に希望する住居形態〔帰還したい世帯〕

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

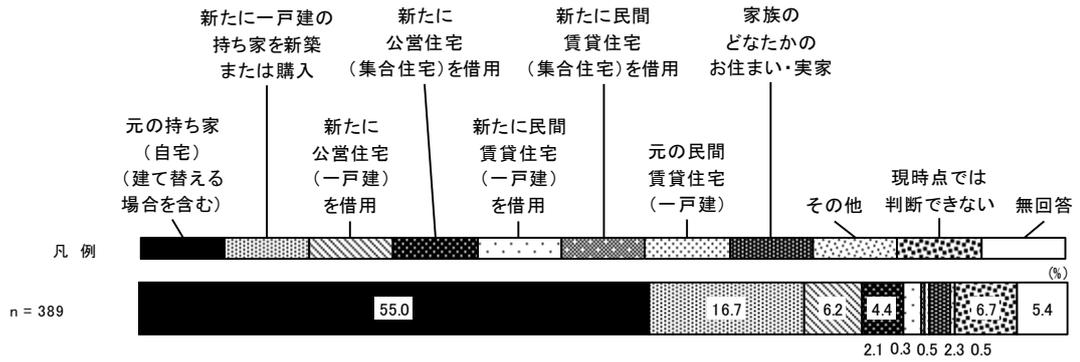
※双葉町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計

※大熊町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計



浪江町

[問9]



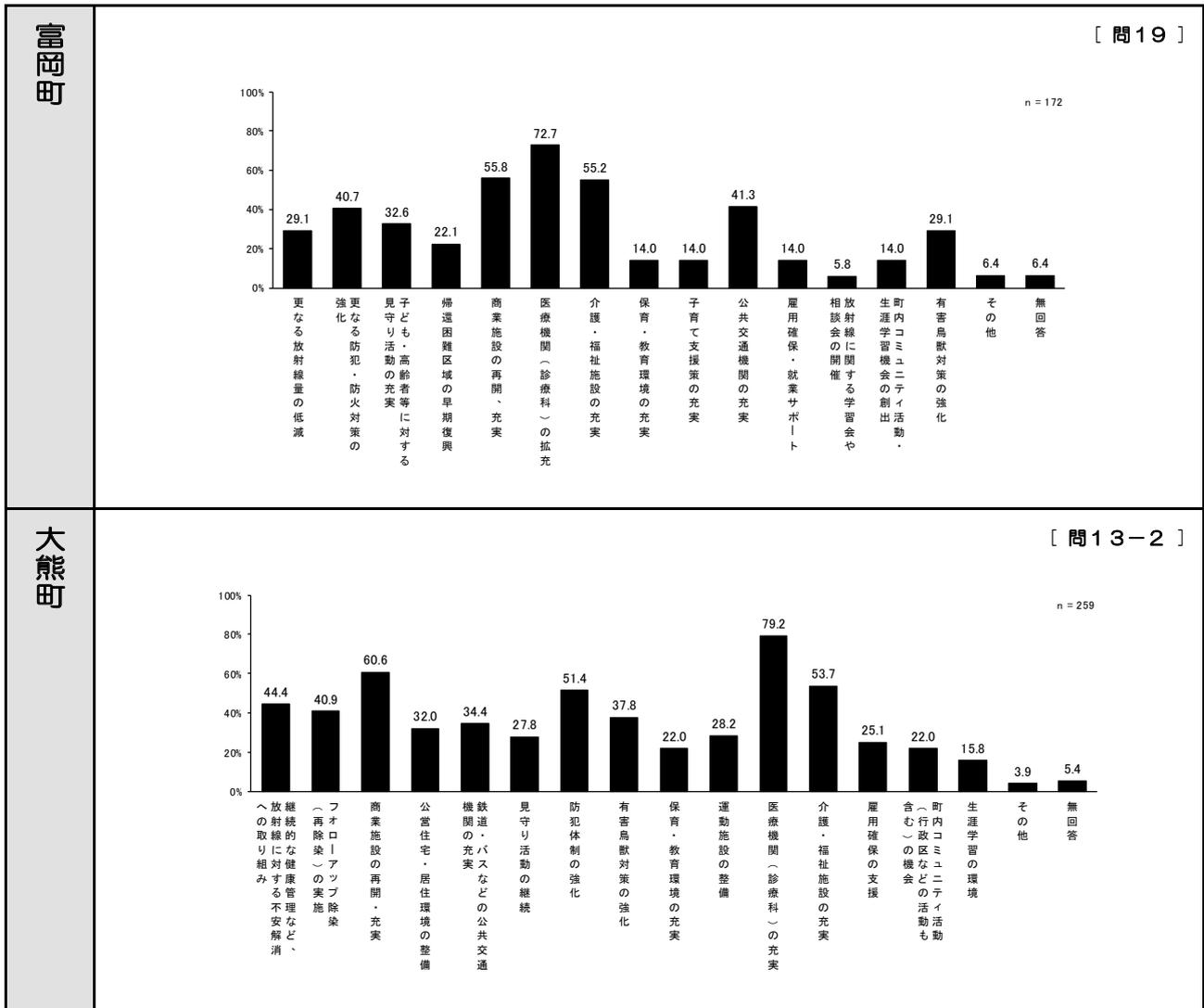
3-2-7 帰還した場合に今後の生活において必要な支援〔帰還したい世帯〕

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計

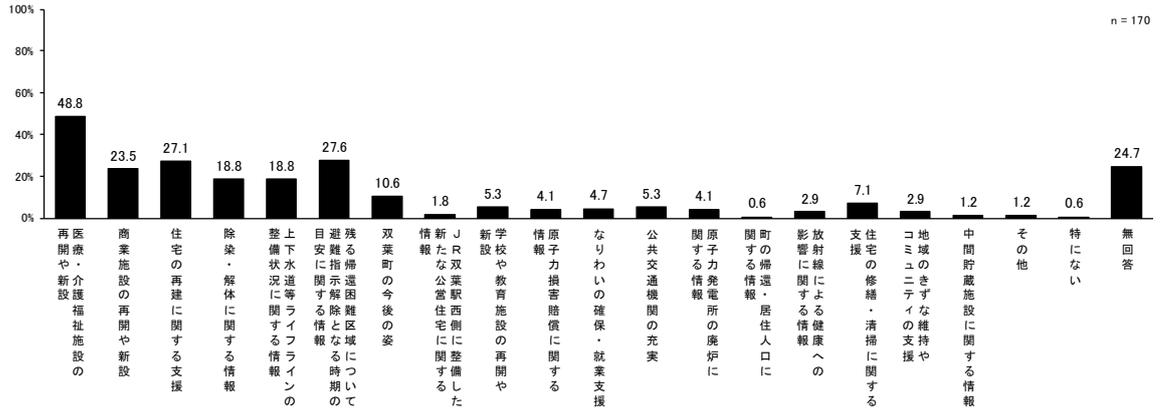
※双葉町は、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出し、優先順位1番目から3番目を合算

※浪江町は、帰還時期で「すぐに戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象



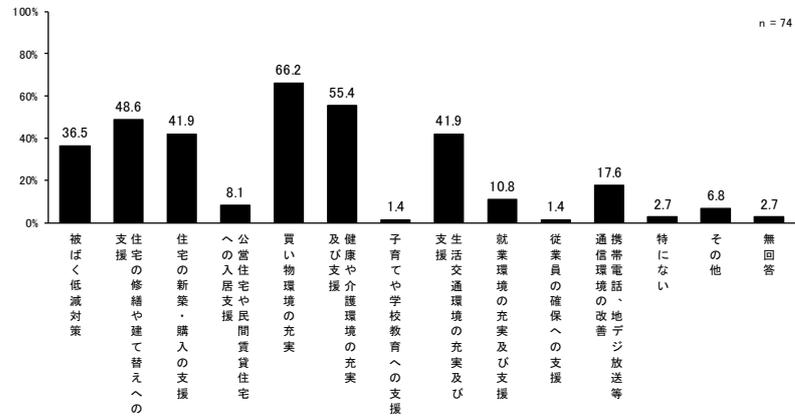
双葉町

[問 1 2 - 1]



浪江町

[問 1 1 - 1]

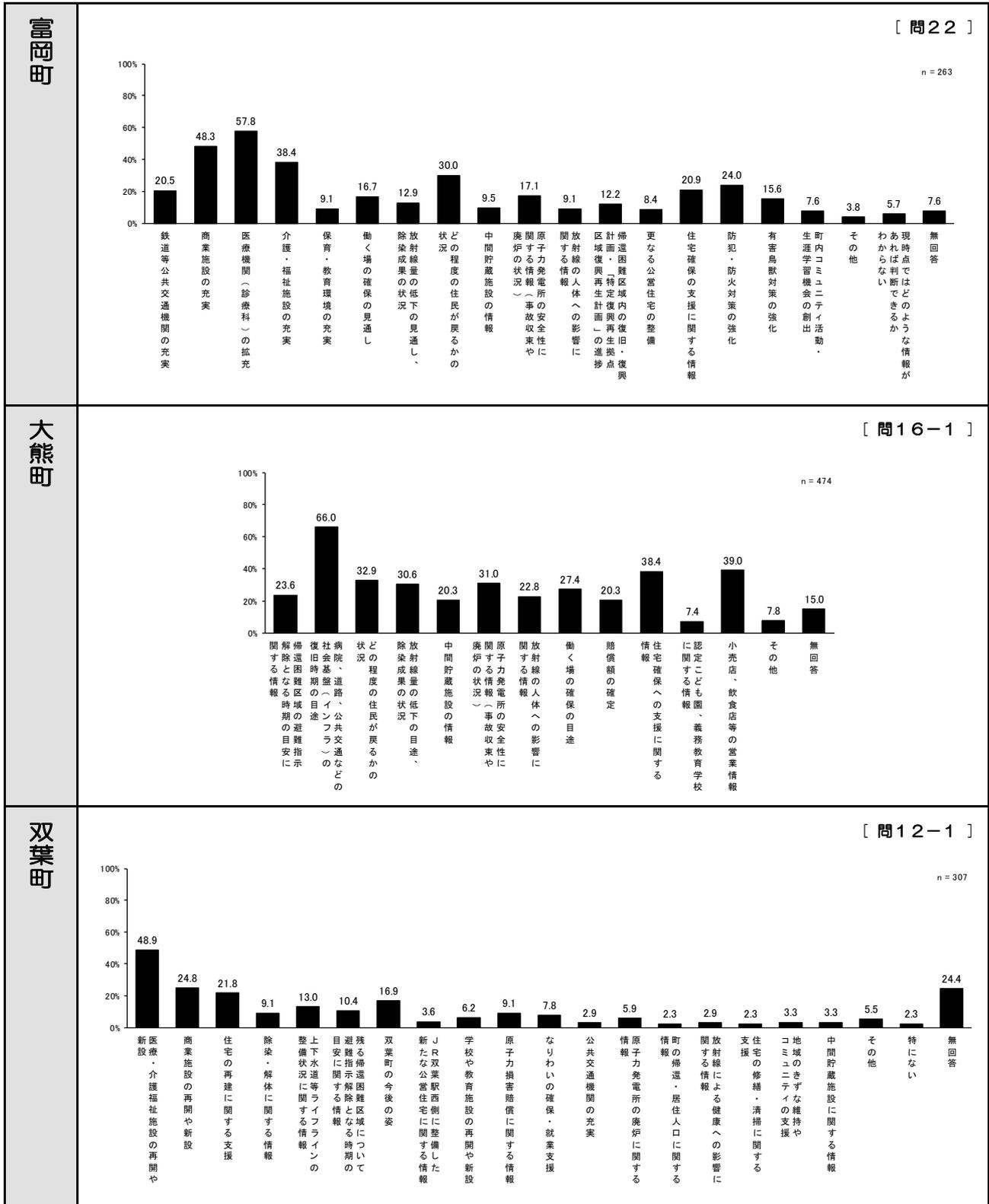


3-2-8 帰還を判断するために必要な条件〔帰還の判断がつかない世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ集計対象

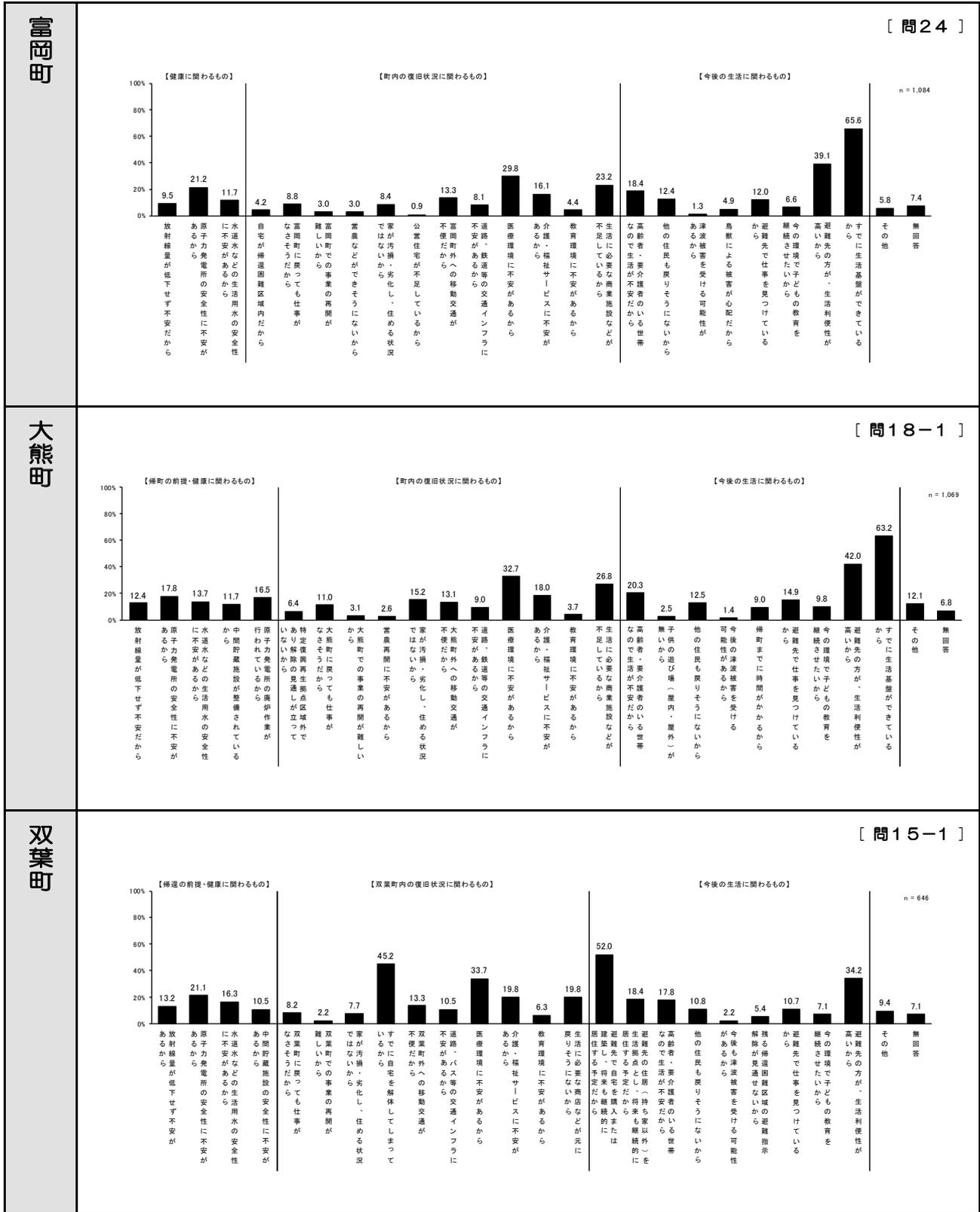
※双葉町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみを抽出し、優先順位 1 番目から 3 番目を合算



3-2-9 帰還しないと決めている理由〔帰還しない世帯〕

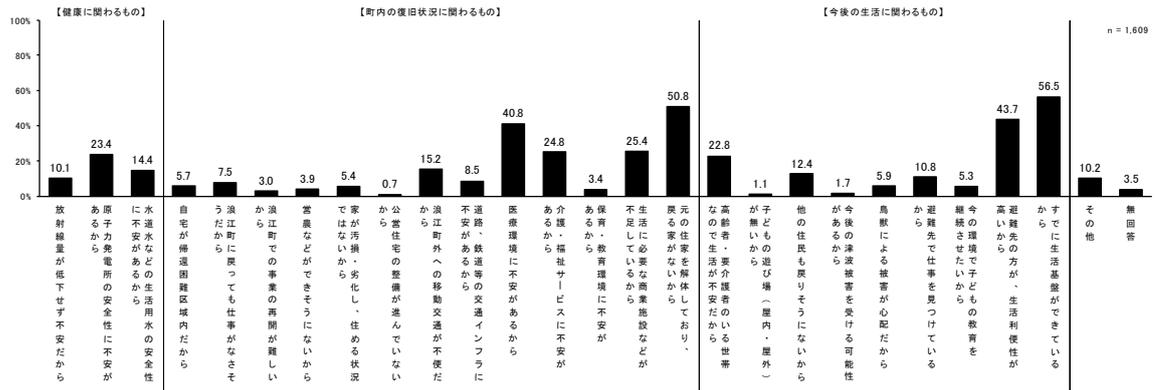
※帰還意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



浪江町

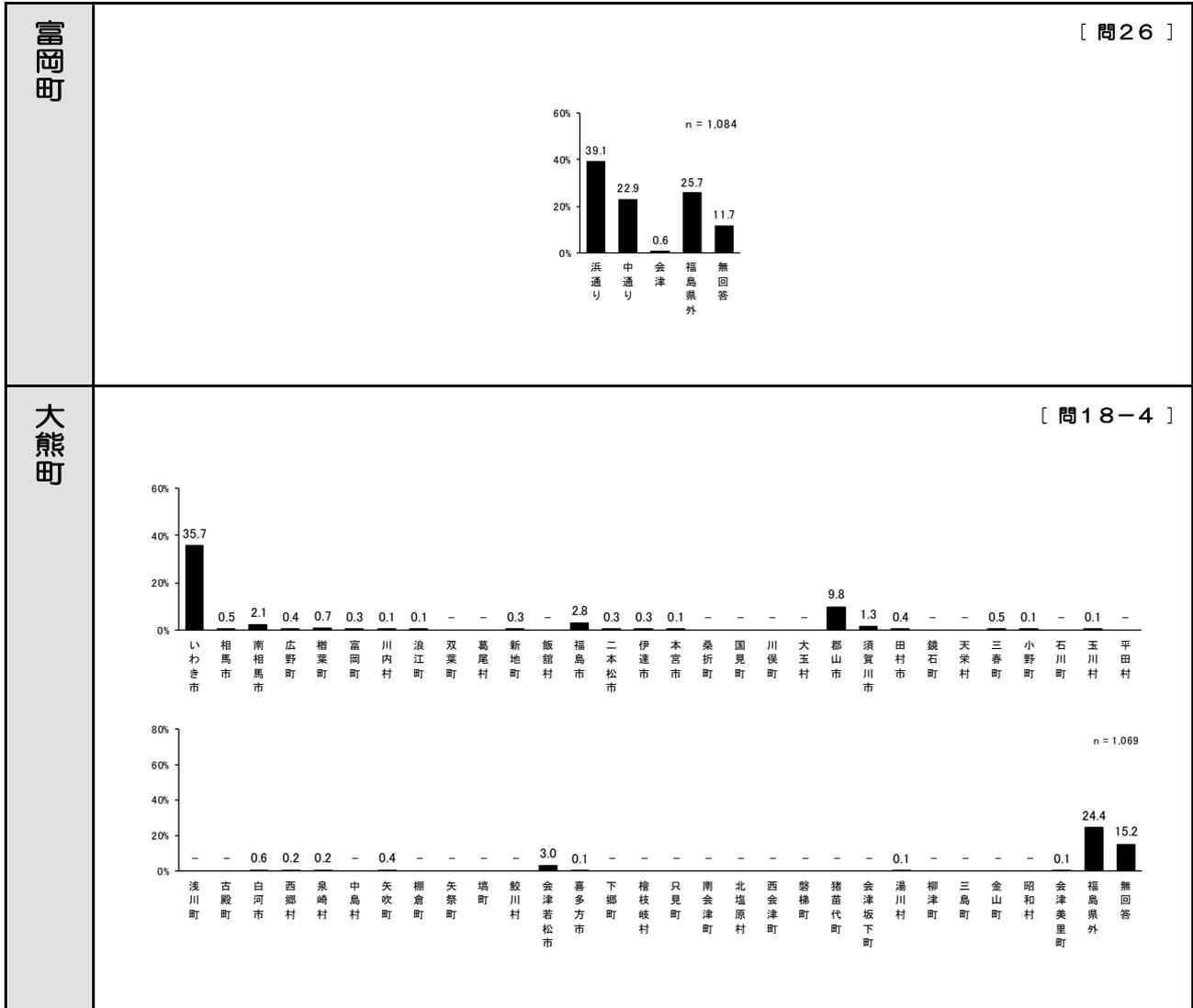
[問 1 4]



3-2-10 帰還しない場合に居住を希望する自治体〔帰還しない世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町

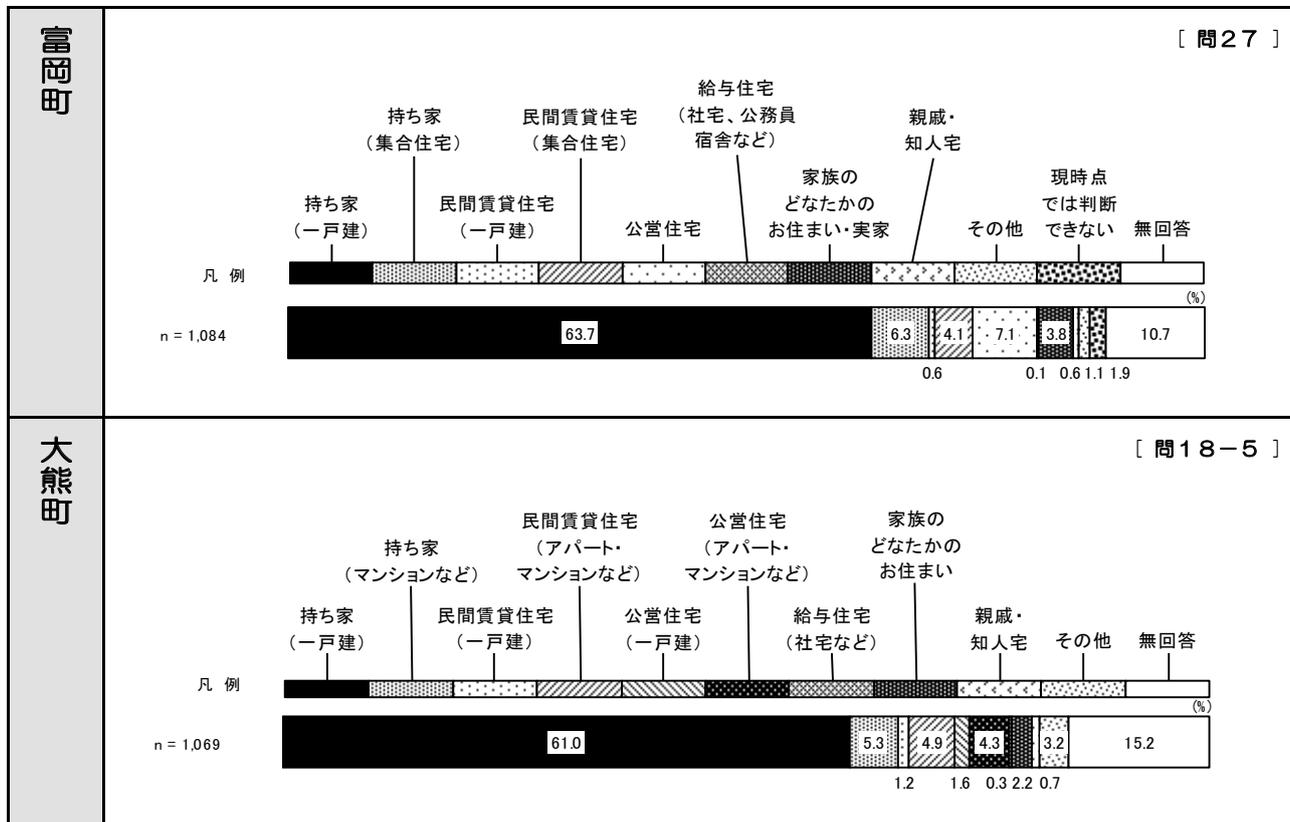
※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



3-2-11 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態〔帰還しない世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計

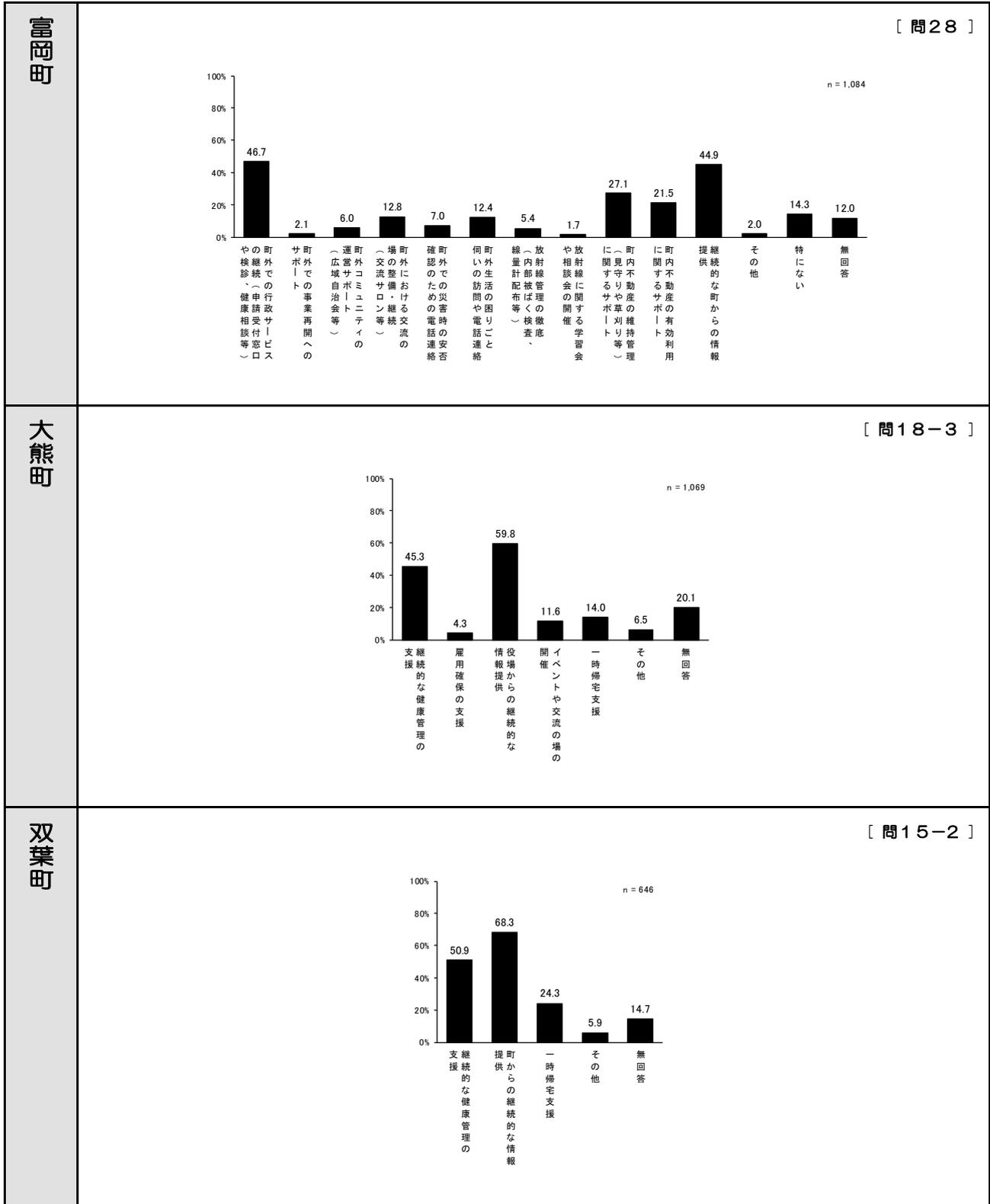


3-2-12 帰還しない場合に今後の生活において必要な支援〔帰還しない世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計

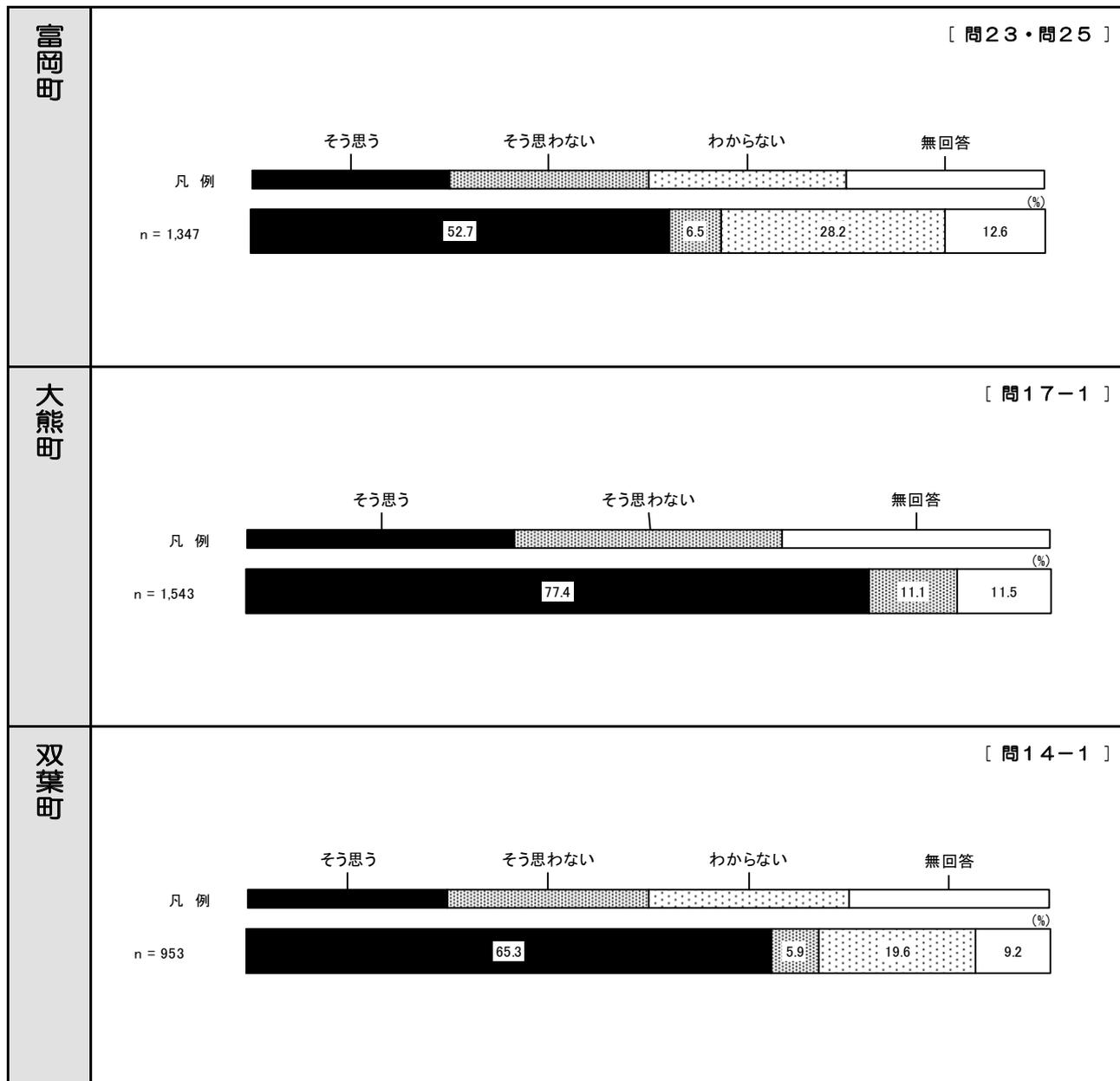


3-2-13 町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還の判断がつかない世帯・帰還しない世帯〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「まだ判断がつかない」「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



**令和6年度
福島県の原子力災害による
避難指示区域等の住民意向調査
全体報告書**

令和7年3月

復興庁

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター